

宮古島市 介護予防・日常生活圏域二一ス調査結果報告書

(宮古島市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画策定資料)

令和5年3月
宮古島市

目 次

I. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果報告

1. 調査の目的.....	1
2. 調査の概要.....	1
3. 集計について.....	1
4. リスク判定方法.....	2

II. 調査結果

1. 回答者の基本属性等.....	7
2. 体を動かすことについて.....	13
3. 食べることについて.....	17
4. 毎日の生活について.....	24
5. 地域での活動について.....	29
6. たすけあいについて.....	32
7. 健康について.....	36
8. 認知症にかかる相談窓口の把握について	48
9. その他.....	49
10. リスク者割合の比較.....	58

III. 調査票	69
----------------	----

I. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1. 調査の目的

老人福祉法第 20 条の 8 の規定等に基づく高齢者保健福祉計画策定する上で、高齢者の生活状況や活動状況などの必要な基礎資料を得るとともに、超高齢社会に対する意識や介護保険サービスに対する意向などの実態を把握することを目的としています。

2. 調査の概要

調査実施期間：令和 4 年 1 2 月 1 6 日～令和 5 年 1 月 3 0 日

調査方法：郵送による配布・回収

調査対象者：市内在住の 65 歳以上の高齢者（要介護 1～5 の認定者以外）

回収状況：配布数：3,000 件 回収数：1,303 件（回収率：43.4%）

調査内容：厚生労働省より示された日常生活圏域ニーズ調査設問項目をベースに独自項目を追加して作成

3. 集計について

- 各設問に示している「回答者実数」は、全員に回答してもらう設問では有効回答数と同数ですが、回答者を限定している設問では、その条件に合う人のみが対象となるため、有効回答数を下回っています。
- 集計では、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、比率を合計しても 100.0%にならない場合があります。
- 地区別や性別、年代別といった「クロス集計結果」については、無回答を除いて表示しています。
- 複数回答の設問については、回答数の合計が回答者実数を上回ることがあります。このため、比率の合計が 100%を超える場合があります。
- 集計によっては、回答者実数が 10 人未満と非常に少ない場合もあり、このような集計は参考程度として見る必要があります。
- グラフや表では、選択肢を一部省略して表記している場合があります。（選択肢が長い場合など）

4. リスク判定方法

本報告書では、調査票の各設問より、運動機能低下や転倒リスクなどの「身体機能リスク判定」を行い、介護に陥りやすい高齢者の状態分析を行っています。各リスクと判定方法は以下のとおりです。

(1) 運動器機能の低下

下記の設問で3問以上、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(2) 転倒リスク

下記の設問で、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(3) 閉じこもり傾向

下記の設問で、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

(4) 低栄養傾向

下記の設問で、BMIが18.5未満となり、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
身長・体重	身長・体重から算出されるBMI(体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が18.5以下の場合、低栄養が疑われる
6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ

(5) 口腔機能の低下

下記の設問で2問以上、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ
口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ

(6) 認知機能の低下

下記の設問で、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ

(7) I A D L (手段的自立度)の低下

下記の設問で、5点満点中、3点以下を「低下」として評価します。

I A D Lは、外出や買物など、自立した日常生活を送るために必要な能力の判断基準となります。

設問内容	選択肢						
バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	<table><tr><td>1. できるし、している</td><td>1点</td></tr><tr><td>2. できるけどしていない</td><td>1点</td></tr><tr><td>3. できない</td><td>0点</td></tr></table>	1. できるし、している	1点	2. できるけどしていない	1点	3. できない	0点
1. できるし、している	1点						
2. できるけどしていない	1点						
3. できない	0点						
自分で食品・日用品の買物をしていますか	<table><tr><td>1. できるし、している</td><td>1点</td></tr><tr><td>2. できるけどしていない</td><td>1点</td></tr><tr><td>3. できない</td><td>0点</td></tr></table>	1. できるし、している	1点	2. できるけどしていない	1点	3. できない	0点
1. できるし、している	1点						
2. できるけどしていない	1点						
3. できない	0点						
自分で食事の用意をしていますか	<table><tr><td>1. できるし、している</td><td>1点</td></tr><tr><td>2. できるけどしていない</td><td>1点</td></tr><tr><td>3. できない</td><td>0点</td></tr></table>	1. できるし、している	1点	2. できるけどしていない	1点	3. できない	0点
1. できるし、している	1点						
2. できるけどしていない	1点						
3. できない	0点						
自分で請求書の支払いをしていますか	<table><tr><td>1. できるし、している</td><td>1点</td></tr><tr><td>2. できるけどしていない</td><td>1点</td></tr><tr><td>3. できない</td><td>0点</td></tr></table>	1. できるし、している	1点	2. できるけどしていない	1点	3. できない	0点
1. できるし、している	1点						
2. できるけどしていない	1点						
3. できない	0点						
自分で預貯金の出し入れをしていますか	<table><tr><td>1. できるし、している</td><td>1点</td></tr><tr><td>2. できるけどしていない</td><td>1点</td></tr><tr><td>3. できない</td><td>0点</td></tr></table>	1. できるし、している	1点	2. できるけどしていない	1点	3. できない	0点
1. できるし、している	1点						
2. できるけどしていない	1点						
3. できない	0点						

(8) うつ傾向

下記の設問で1問以上、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

(9) 知的能動性の低下

下記の設問で、4点満点中、2点以下を「低下」として評価します。

知的能動性は、探索、創作、余暇活動などの知的な活動をすることです。

設問内容	選択肢
年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点
新聞を読んでいますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点
本や雑誌を読んでいますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点
健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点

(10) 社会的役割の低下

下記の設問で、4点満点中、3点以下を「低下」として評価します。

社会的役割は、仲間と会食の機会を持ったり、地域の活動に参加したりするなど、地域で社会的な役割を果たすことです。

設問内容	選択肢
友人の家を訪ねていますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点
家族や友人の相談にのっていますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点
病人を見舞うことができますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点
若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点

Ⅱ．調査結果

1．回答者の基本属性等

(1) 性別、年齢

調査対象者の性別は、「男性」が 46.4%、「女性」が 53.6%で、女性の方が多くなっています。

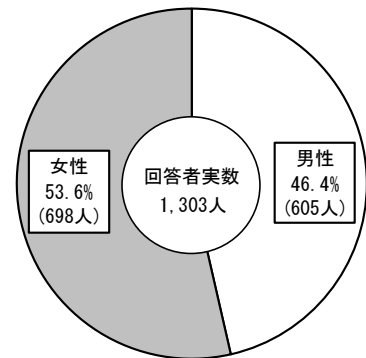
年齢は、「65 歳～69 歳」が 33.2%、「70 歳～74 歳」が 31.5%で、これらを合わせた前期高齢者(65 歳以上 75 歳未満)の占める割合が 64.6%と、6 割を超えています。また、前期高齢者は女性の方が多く、後期高齢者は男性の方が多くなっています。

年齢について圏域別に見ると、すべての圏域で前期高齢者が多くなっています。

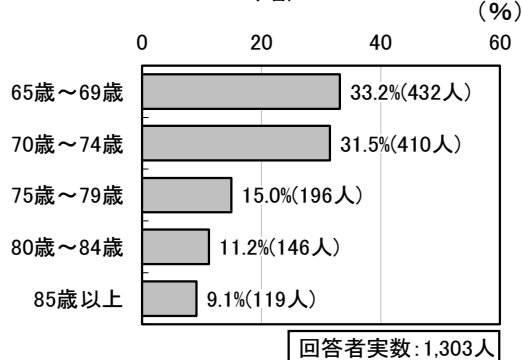
年齢（性別、圏域別）

	回答者実数	前期高齢者	後期高齢者
全体	100.0% (1,303 人)	64.6% (842 人)	35.4% (461 人)
男性	46.4% (605 人)	63.0% (381 人)	37.0% (224 人)
女性	53.6% (698 人)	66.0% (461 人)	34.0% (237 人)
平良圏域 A	6.4% (84 人)	52.4% (44 人)	47.6% (40 人)
平良圏域 B	55.6% (725 人)	66.1% (479 人)	33.9% (246 人)
城辺圏域	14.1% (184 人)	58.7% (108 人)	41.3% (76 人)
下地・上野圏域	12.4% (162 人)	67.3% (109 人)	32.7% (53 人)
伊良部圏域	11.4% (148 人)	68.9% (102 人)	31.1% (46 人)

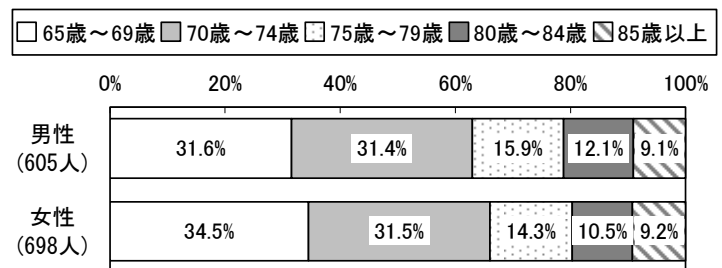
性別



年齢



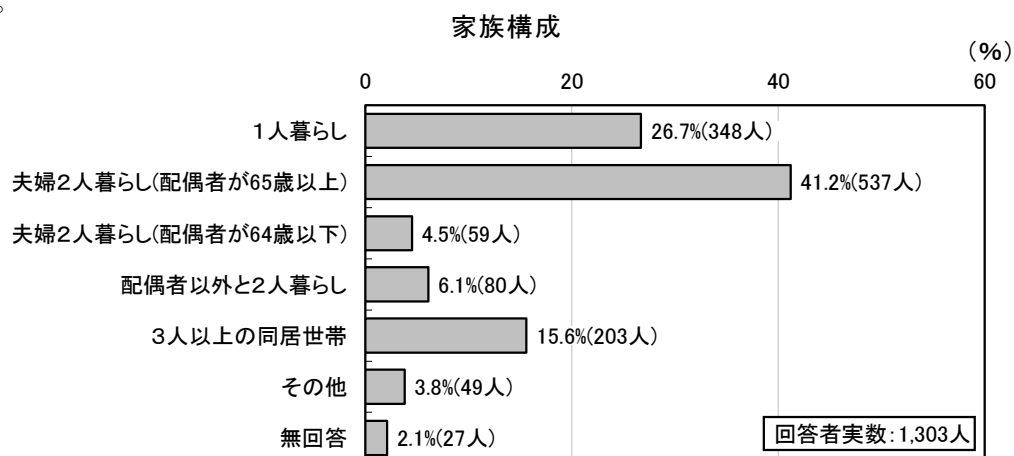
年齢（性別）



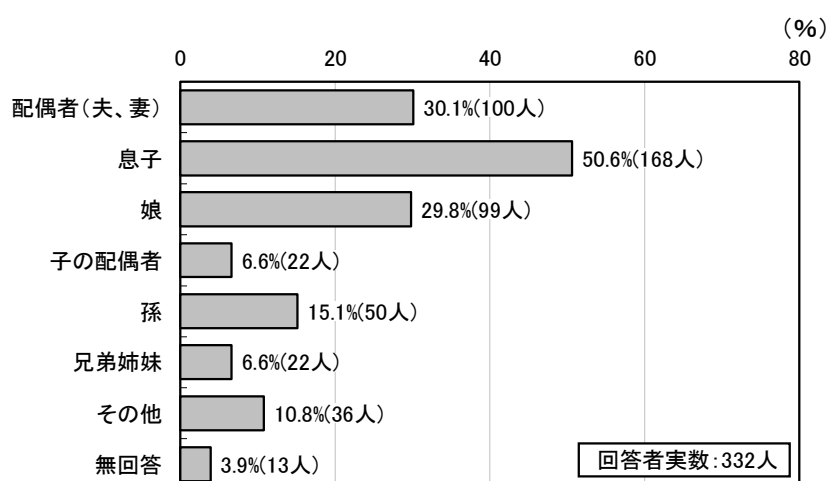
(2) 家族構成

家族構成を見ると、「夫婦2人暮らし(配偶者が65歳以上)」が41.2%で最も高く、また、「1人暮らし」が26.7%でこれに次いで高く、「3人以上の同居世帯」は15.6%となっています。

「配偶者以外と2人暮らし」、「3人以上の同居世帯」、「その他」の同居人については、「息子」が50.6%で最も高く、「配偶者(夫、妻)」が30.1%、「娘」が29.8%、「孫」が15.1%となっています。

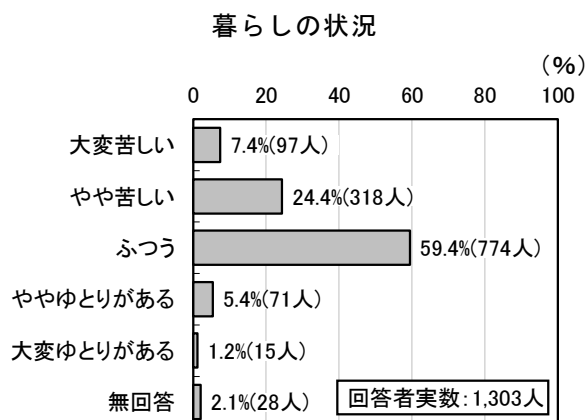


「配偶者以外と2人暮らし」、「3人以上の同居世帯」、「その他」の同居人



(3) 暮らしの状況（経済的に見て）

経済的な面での暮らしの状況を尋ねました。最も高いのは「ふつう」の59.4%と約6割を占めていますが、「大変苦しい」、「やや苦しい」をあわせた“苦しい”という回答が31.8%と3割を占め、経済的な負担を感じている人も多いことがわかります。



性別で見ると、回答の構成比に男女差はあまりありませんが、生活が“苦しい”という回答は女性の方で僅かに高くなっています。

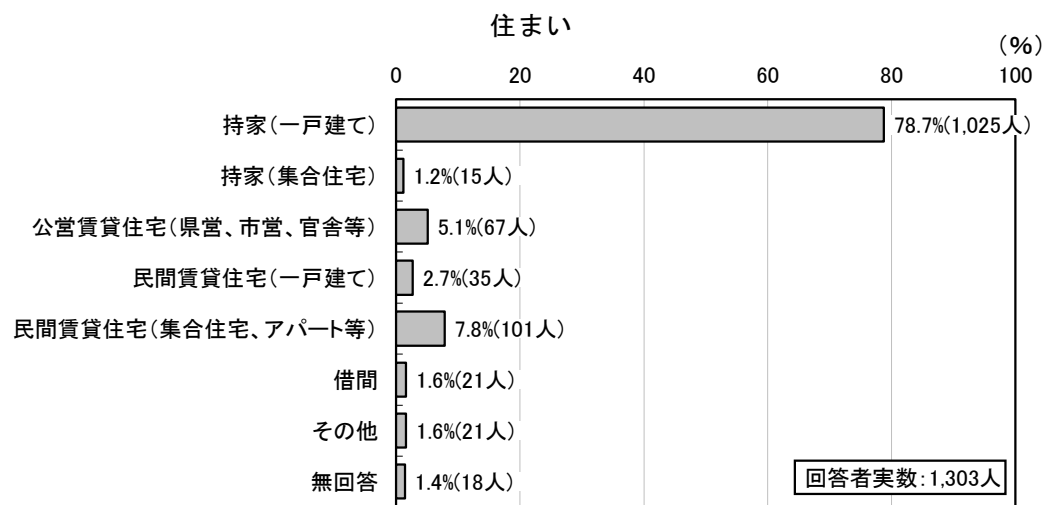
年齢別では、“苦しい”は「70歳～74歳」から「75歳～79歳」の間で高く、35%前後を占めます。そのほか「85歳以上」は32.8%で高くなっています。

暮らしの状況（性別、年齢別）

	回答者実数	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
男性	605人	6.3% (38人)	24.5% (148人)	59.8% (362人)	5.8% (35人)	1.3% (8人)	2.3% (14人)
女性	698人	8.5% (59人)	24.4% (170人)	59.0% (412人)	5.2% (36人)	1.0% (7人)	2.0% (14人)
65歳～69歳	432人	6.9% (30人)	20.8% (90人)	62.7% (271人)	6.7% (29人)	0.9% (4人)	1.9% (8人)
70歳～74歳	410人	10.5% (43人)	24.9% (102人)	55.9% (229人)	5.6% (23人)	1.2% (5人)	2.0% (8人)
75歳～79歳	196人	5.6% (11人)	31.1% (61人)	56.6% (111人)	3.1% (6人)	1.0% (2人)	2.6% (5人)
80歳～84歳	146人	5.5% (8人)	21.2% (31人)	61.6% (90人)	6.8% (10人)	2.1% (3人)	2.7% (4人)
85歳以上	119人	4.2% (5人)	28.6% (34人)	61.3% (73人)	2.5% (3人)	0.8% (1人)	2.5% (3人)

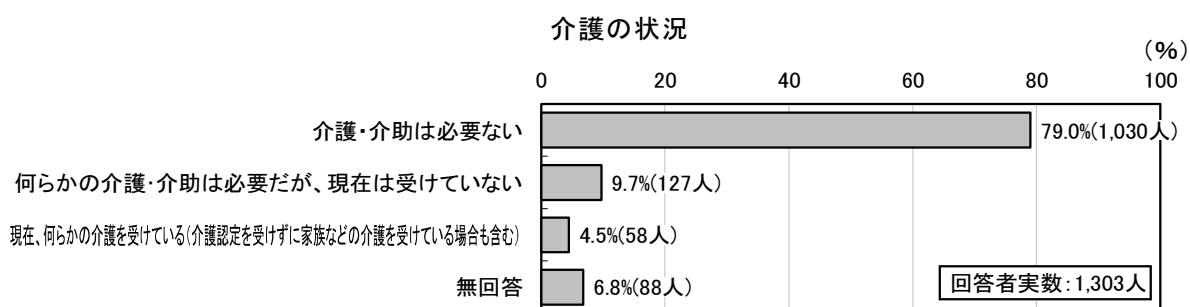
(4) 住まい

住まいについては、「持家(一戸建て)」が78.7%で圧倒的に高くなっています。



(5) 介護の状況

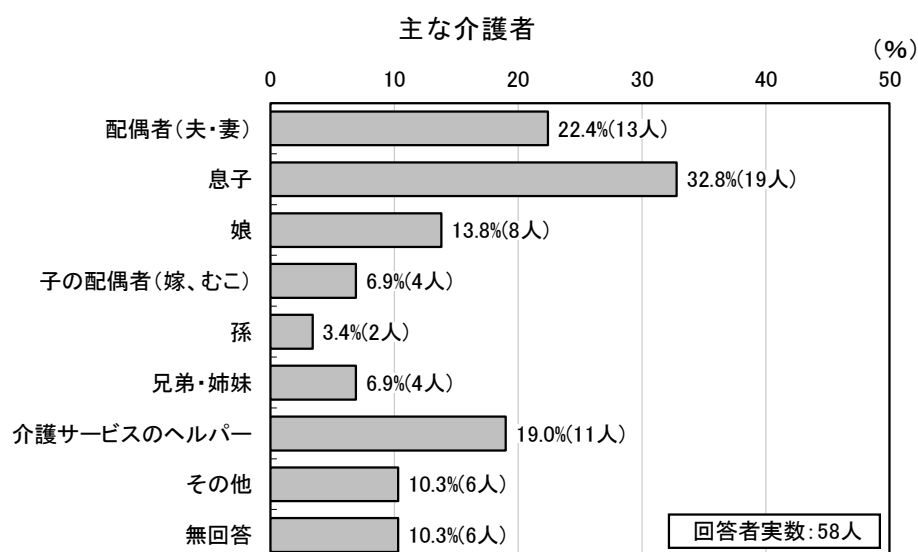
介護について見ると、「介護・介助は必要ない」が 79.0%となっています。本調査の対象者が要介護1～5を除いた在宅の高齢者（一般高齢者と要支援者）であることから、介護を必要とする割合は低いものと考えられます。比較的元気な高齢者への調査ではありますが、14.2%が介護や介助を必要としており、介護認定を受けていないが介護を必要としている人が一定数見られることがわかります。また、介護が必要で介護を受けている割合は、年齢が上がるとともに上昇する傾向となっています。



介護の状況（年齢別）

	回答者実数	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
65歳～69歳	432人	88.2% (381人)	4.6% (20人)	2.3% (10人)	4.9% (21人)
70歳～74歳	410人	86.8% (356人)	5.6% (23人)	2.2% (9人)	5.4% (22人)
75歳～79歳	196人	80.6% (158人)	8.2% (16人)	2.6% (5人)	8.7% (17人)
80歳～84歳	146人	58.9% (86人)	19.9% (29人)	7.5% (11人)	13.7% (20人)
85歳以上	119人	41.2% (49人)	32.8% (39人)	19.3% (23人)	6.7% (8人)

「現在、何らかの介護を受けている」と回答した人の主な介護者をみると、「息子」(32.8%)、「配偶者(夫・妻)」(22.4%)、「介護サービスのヘルパー」(19.0%)、「娘」(13.8%)の順となり、近親者の割合が高くなっています。

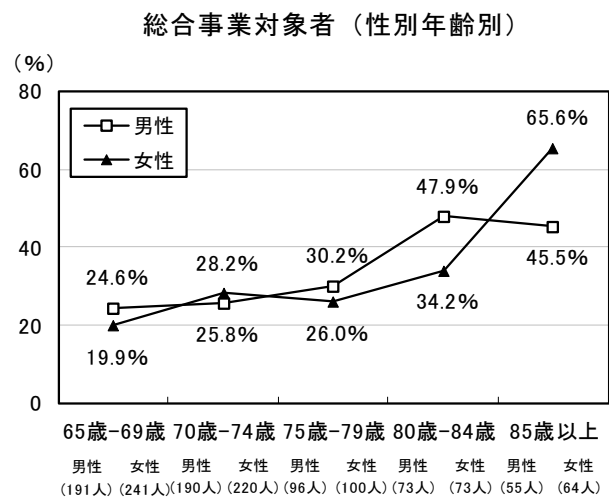
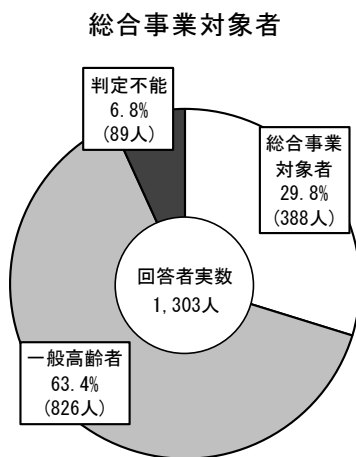


(6) 総合事業対象者

調査結果より身体機能低下者を集計し、これを総合事業対象者として要介護状態に陥るおそれのある人の把握を行いました。(総合事業の対象者にも概ね相当すると考えられるため)

総合事業対象者について見ると、対象となる人は 29.8% で約 3 割となっています。

性別年齢別で見ると、女性に比べて男性の方が高く、また年齢が上がるとともにこの割合が上昇しており、男性が 80 歳～84 歳で 47.9% となりますが、85 歳以上では女性が高く 65.6% と大半を占めています。



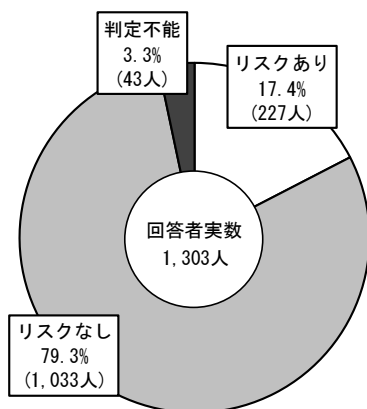
2. 体を動かすことについて

(1) 運動器の機能低下者（リスク者）

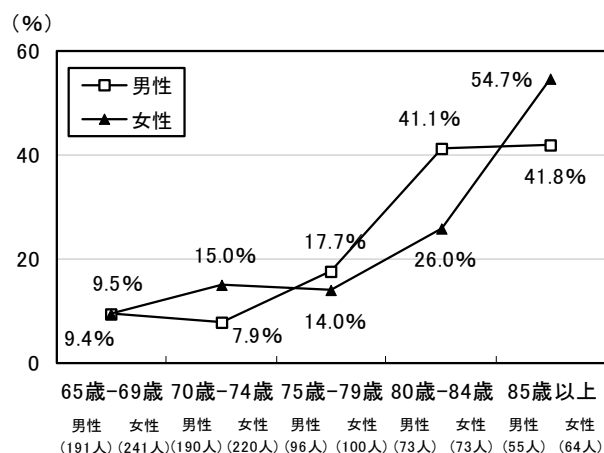
運動器のリスク者は17.4%で2割弱となっています。

性別年齢別で見ると、男性では80歳～84歳と85歳以上では4割を占め、女性では80歳～84歳で2割半ばですが、85歳以上では5割半ばを占めています。

運動器の機能低下者



運動器の機能リスク（性別年齢別）

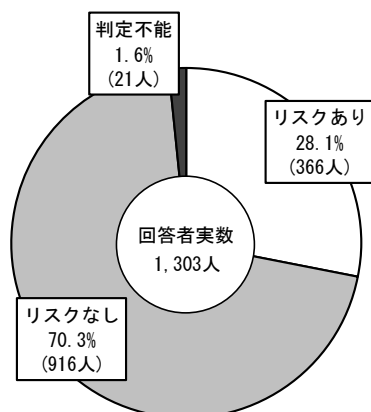


(2) 転倒リスク者

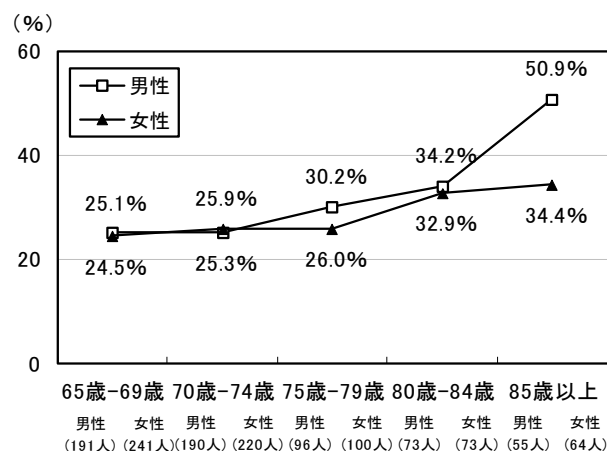
転倒のリスク者は28.1%で約3割となっています。

性別年齢別で見ると、女性に比べて男性の方がやや高く、また年齢が上がるとともにリスク者の割合が上昇しています。男性では80歳～84歳で3割半ば、85歳以上では5割となっています。女性も年齢が上がるにつれてリスク者の割合が高くなり、80歳～84歳、85歳以上では3割を超えています。

転倒リスク者



転倒リスク者（性別年齢別）



転倒に対する不安について、転倒リスクの有無別に見ると、「リスクあり」の方で不安を感じている方が多く、特に「とても不安である」は「リスクあり」で 35.2%、「リスクなし」で 11.2% とその差が大きくなっています。

転倒に対する不安はあるか（転倒リスク別）

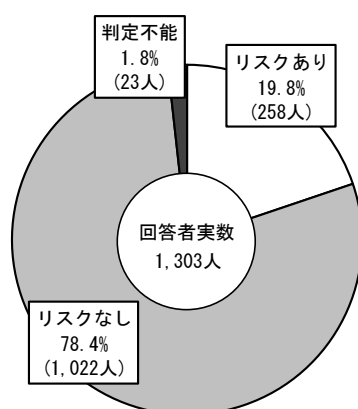
	回答者実数	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
リスクあり	366 人	35.2% (129 人)	44.5% (163 人)	16.7% (61 人)	3.3% (12 人)	0.3% (1 人)
リスクなし	916 人	11.2% (103 人)	35.0% (321 人)	27.2% (249 人)	25.4% (233 人)	1.1% (10 人)

(3) 閉じこもり傾向（リスク者）

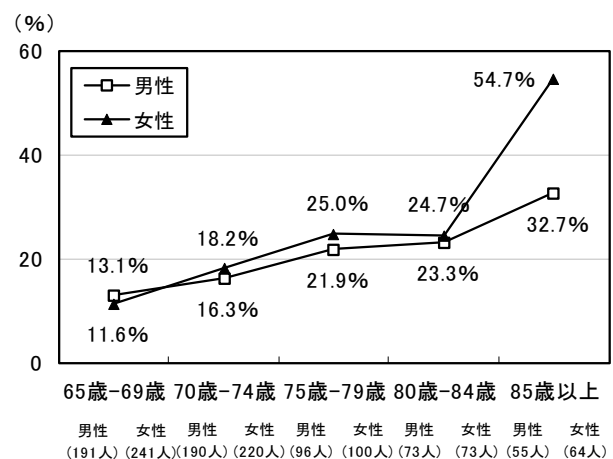
閉じこもりのリスク者は 19.9% で約 2 割となっています。

性別年齢別で見ると、年齢が上がるとともにリスク者の割合は上昇しており、80 歳～84 歳までは男女は同程度の割合ですが、85 歳以上では、男性が 3 割、女性が 5 割半ばと高くなっています。

閉じこもり傾向



閉じこもりリスク者（性別年齢別）



外出回数の減少について、閉じこもりリスクの有無別に見ると、「とても減っている」と「減っている」を合わせた割合は、「リスクあり」で 72.9%、「リスクなし」で 22.6% となっています。

昨年と比べて外出の回数が減っているか（閉じこもり傾向別）

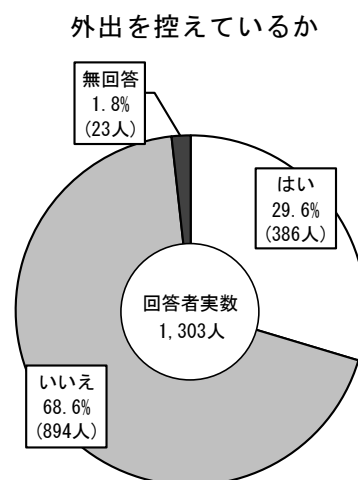
	回答者実数	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
リスクあり	258 人	22.1% (57 人)	50.8% (131 人)	16.7% (43 人)	9.7% (25 人)	0.8% (2 人)
リスクなし	1,022 人	2.2% (22 人)	20.4% (208 人)	32.5% (332 人)	44.7% (457 人)	0.3% (3 人)

(4) 外出の状況

①外出を控えているか

外出を控えているか尋ねたところ、「はい」が29.6%、「いいえ」が68.6%となっています。

年齢別に見ると、外出を控えている人は年齢が上がるともに高くなっており、65歳～69歳では2割半ばですが、85歳以上では4割半ばに達しています。

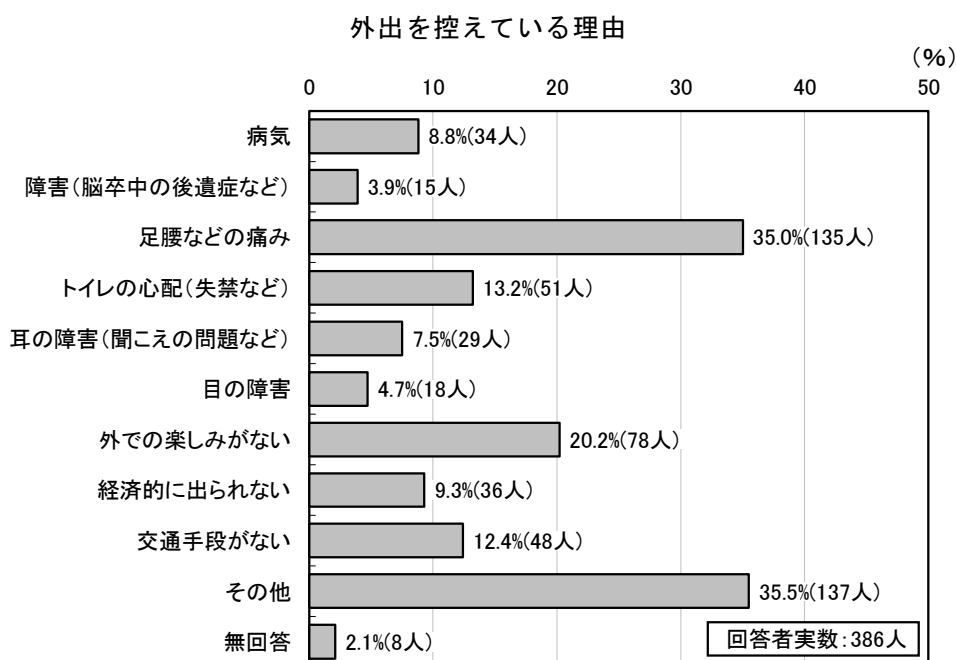


外出を控えているか（年齢別）

	回答者実数	はい	いいえ	無回答
65 歳～69 歳	432 人	25.5% (110 人)	73.1% (316 人)	1.4% (6 人)
70 歳～74 歳	410 人	27.3% (112 人)	71.2% (292 人)	1.5% (6 人)
75 歳～79 歳	196 人	32.7% (64 人)	66.3% (130 人)	1.0% (2 人)
80 歳～84 歳	146 人	31.5% (46 人)	65.8% (96 人)	2.7% (4 人)
85 歳以上	119 人	45.4% (54 人)	50.4% (60 人)	4.2% (5 人)

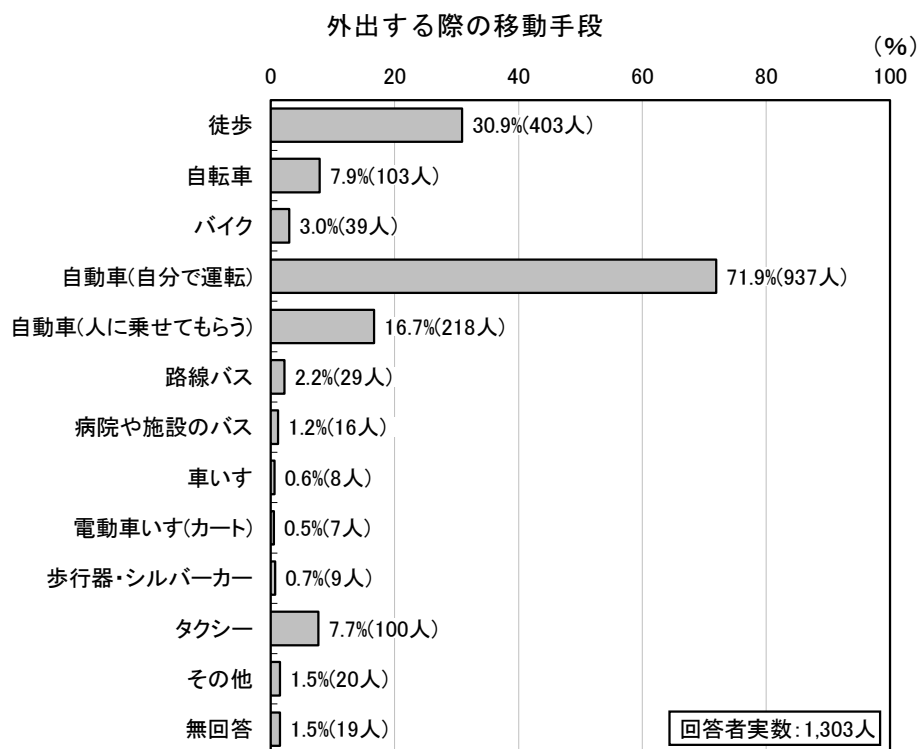
②外出を控えている理由

外出を控えている理由を見ると、「足腰などの痛み」の35.0%が非常に高く、次いで「外での楽しみがない」が20.2%、「トイレの心配(失禁など)」が13.2%、「交通手段がない」が12.4%となっています。また、今回の調査では「その他」が35.5%と選択肢の中では最も高くなっていました。内容としては、新型コロナウイルス感染予防のために外出を控えたという声が83.2%を占めており、新型コロナの影響が外出控えに大きな影響を与えていることがわかります。そのほか、「転倒の不安」、「外出する気が起こらない」等が理由にあげられています。



③外出する際の移動手段

外出する際の移動手段としては、「自動車(自分で運転)」が 71.9%で最も高く、7割を占めています。また、「徒歩」が 30.9%で比較的高く、その他の移動手段はそれぞれ 20%未満となっています。

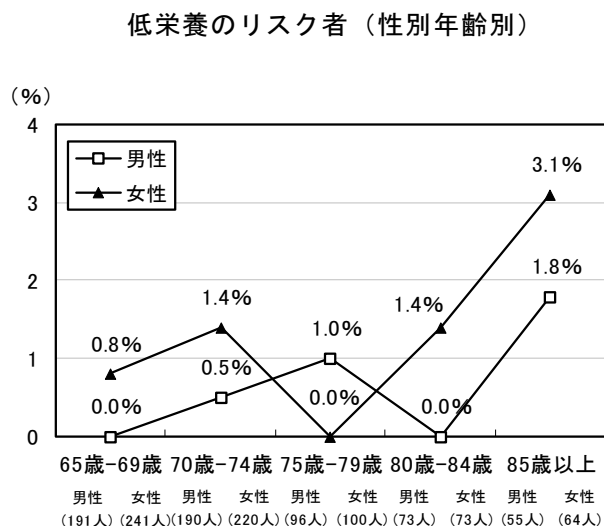
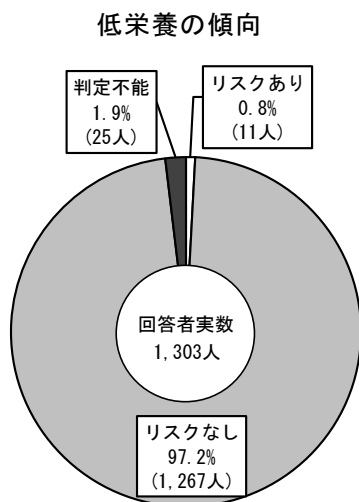


3. 食べることについて

(1) 低栄養の傾向（リスク者）

低栄養のリスク者は0.8%で非常に低くなっています。

性別年齢別で見ると、75歳～79歳では男性の方が高く、他の年齢は女性の方が高くなっています。

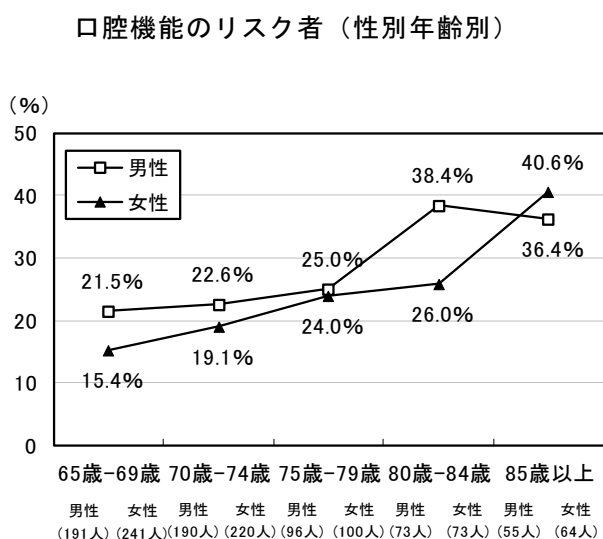
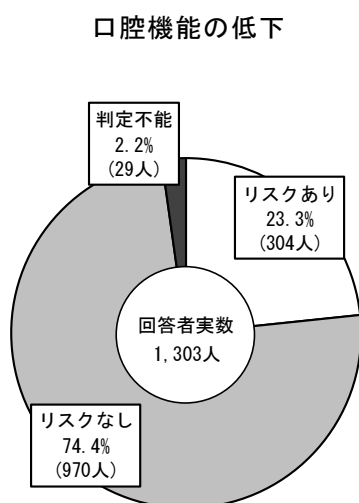


(2) 口腔機能低下

① 口腔機能の低下者（リスク者）

口腔機能のリスク者は23.3%で2割強となっています。

性別年齢別で見ると、男性がやや高く、また年齢が上がるとともにリスク者の割合が上昇しており、男性は84歳までは2割程度、85歳以上では3割半ばを占めています。女性は84歳までは2割程度、85歳以上では4割を占めています。



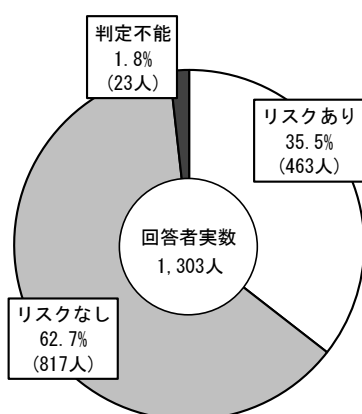
②咀嚼機能の低下者（リスク者）

口腔機能のうち、「半年前より固いものが食べにくくなったか」を尋ね、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者を把握しました。

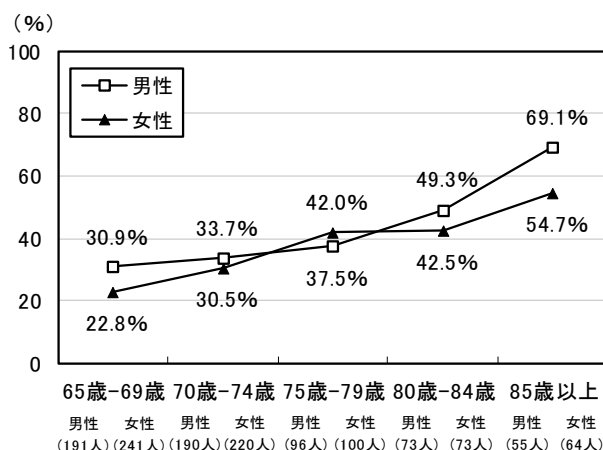
咀嚼機能のリスク者は35.5%で3割半ばとなっています。

性別年齢別で見ると、75歳～79歳は女性の方がリスク者が高く、それ以外は男性が高くなっています。また男性では65歳～79歳まで30%台で推移するものの、80歳～84歳では約5割、85歳以上では約7割となっています。女性でも年齢が上がっていくと割合も上がりますが、男性より緩やかです。

咀嚼機能の低下者



咀嚼機能のリスク者（性別年齢別）



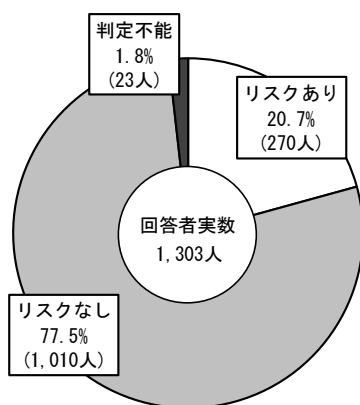
③嚥下機能の低下者（リスク者）

口腔機能のうち、「お茶等でむせることがあるか」を尋ね、嚥下機能の低下が疑われる高齢者を把握しました。

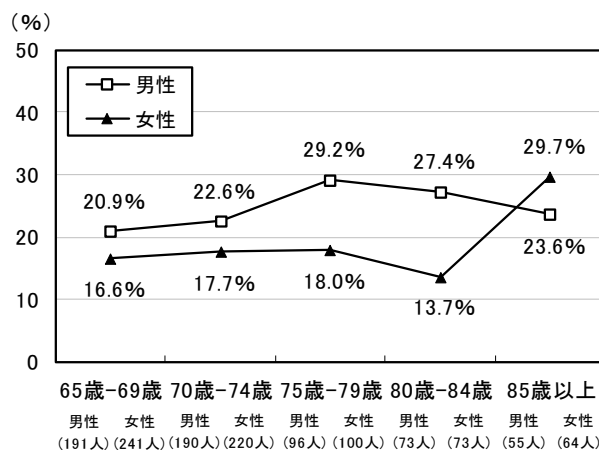
嚥下機能のリスク者は20.7%で2割余りとなっています。

性別年齢別で見ると、84歳までは男性の2割台で女性より高くなっていますが、85歳以上では女性が3割で高くなっています。

嚥下機能の低下者



嚥下機能のリスク者（性別年齢別）



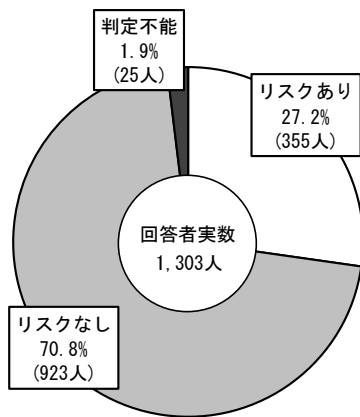
④肺炎発症リスク者

口腔機能のうち、「口の渇きが気になるか」を尋ね、肺炎発症リスクが疑われる高齢者を把握しました。

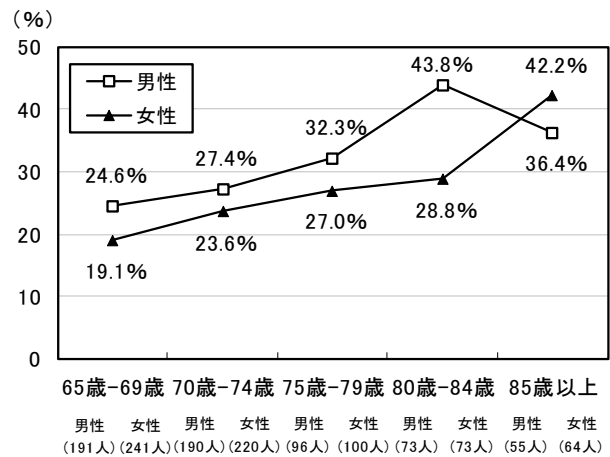
肺炎発症リスク者は27.2%で3割近くとなっています。

性別年齢別で見ると、84歳未満で男性の方が女性より高くなっています。85歳以上では女性の方が男性より高くなっています。

肺炎発症のリスク



肺炎発症リスク者（性別年齢別）

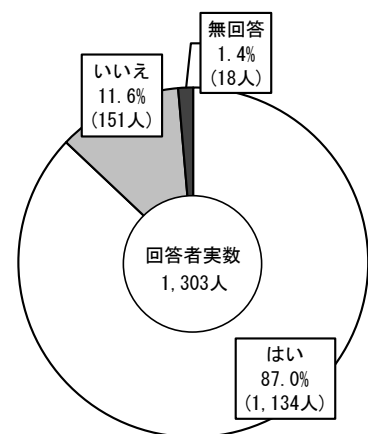


(3) 歯の健康

①歯磨きの習慣

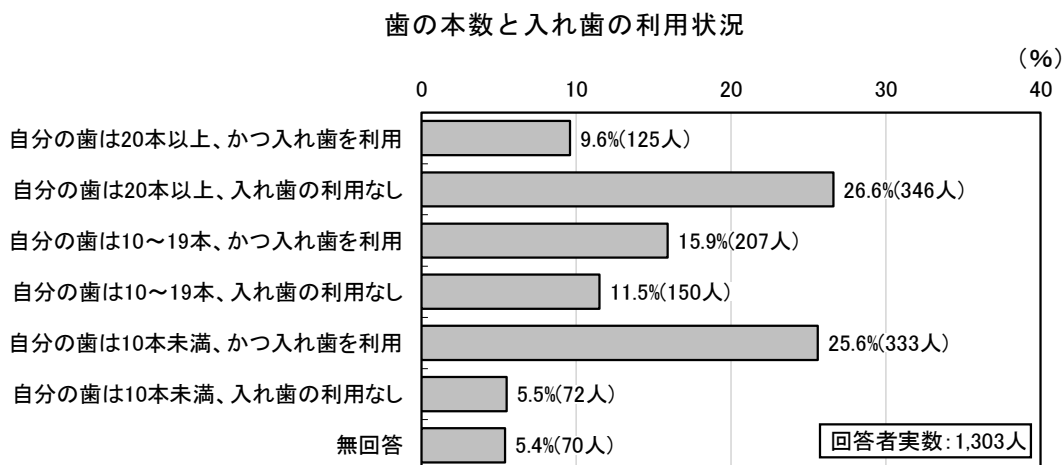
毎日の歯磨きをしている人は87.0%となり、9割近くを占めています。

毎日歯磨きしているか



②歯の本数と入れ歯の利用状況

歯の本数と入れ歯の利用について見ると、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が26.6%で最も高くなっています。歯が20本以上ある人は36.2%、入れ歯を利用していない人は43.6%となっています。



年齢別に見ると、75歳以上は「歯は10本未満で入れ歯を利用」が最も高く、年齢が上がるとともにこの割合が高くなっていく傾向にあり、65歳～69歳では14.1%ですが、75歳～79歳には30.6%、85歳以上では44.5%となっています。また、「歯は20本以上で入れ歯の利用なし」は、65歳～69歳で35.6%と3割半ばを占めていますが、年齢が上がるとともに割合は低下し、85歳以上では9.2%となっています。

歯の数と入れ歯の利用状況（年齢別）

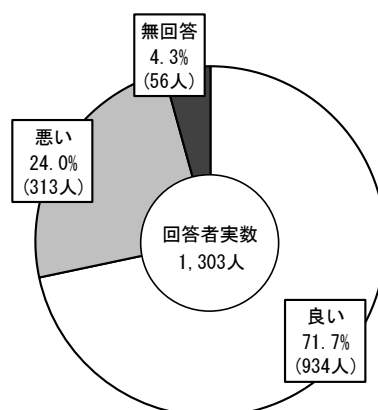
	回答者 実数	自分の歯は20本以上		自分の歯は10～19本		自分の歯は10本未満		無回答
		入れ歯を 利用	入れ歯の 利用なし	入れ歯を 利用	入れ歯の 利用なし	入れ歯を 利用	入れ歯の 利用なし	
65歳～69歳	432人	9.7% (42人)	35.6% (154人)	16.2% (70人)	16.9% (73人)	14.1% (61人)	4.6% (20人)	2.8% (12人)
70歳～74歳	410人	9.8% (40人)	27.6% (113人)	14.9% (61人)	13.2% (54人)	25.1% (103人)	6.1% (25人)	3.4% (14人)
75歳～79歳	196人	9.7% (19人)	24.5% (48人)	15.3% (30人)	6.6% (13人)	30.6% (60人)	5.1% (10人)	8.2% (16人)
80歳～84歳	146人	6.2% (9人)	13.7% (20人)	19.9% (29人)	4.8% (7人)	38.4% (56人)	7.5% (11人)	9.6% (14人)
85歳以上	119人	12.6% (15人)	9.2% (11人)	14.3% (17人)	2.5% (3人)	44.5% (53人)	5.0% (6人)	11.8% (14人)

③噛み合わせは良いか

噛み合わせについて尋ねたところ、「はい(良い)」という回答は71.7%、「いいえ(悪い)」は24.0%で、7割の高齢者は噛み合わせの問題がないとしています。

年齢別に見ると、「はい(良い)」は年齢が上がると割合は低下する傾向にあり80歳未満は70%台ですが、80歳～84歳が65.8%、85歳以上は58.8%となっています。

噛み合わせは良いか



噛み合わせは良いか（年齢別）

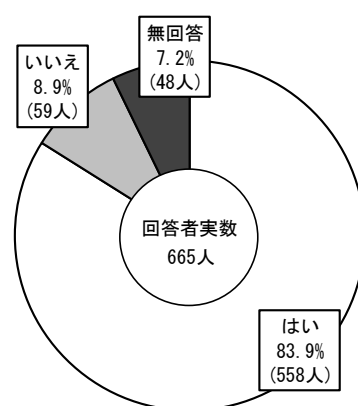
	回答者実数	良い	悪い	無回答
65 歳～69 歳	432 人	77.1% (333 人)	19.9% (86 人)	3.0% (13 人)
70 歳～74 歳	410 人	70.2% (288 人)	26.6% (109 人)	3.2% (13 人)
75 歳～79 歳	196 人	75.0% (147 人)	19.9% (39 人)	5.1% (10 人)
80 歳～84 歳	146 人	65.8% (96 人)	26.0% (38 人)	8.2% (12 人)
85 歳以上	119 人	58.8% (70 人)	34.5% (41 人)	6.7% (8 人)

④毎日入れ歯の手入れをしているか

毎日入れ歯の手入れをしているか尋ねたところ、「はい」が83.9%、「いいえ」が8.9%で、ほとんどの人が毎日手入れしていると回答しています。

年齢別に見ると、いずれも「はい」という回答が8割前後を占めています。

毎日入れ歯の手入れをしているか



毎日入れ歯の手入れをしているか（年齢別）

	回答者実数	はい	いいえ	無回答
65 歳～69 歳	173 人	83.8% (145 人)	7.5% (13 人)	8.7% (15 人)
70 歳～74 歳	204 人	87.7% (179 人)	5.9% (12 人)	6.4% (13 人)
75 歳～79 歳	109 人	83.5% (91 人)	10.1% (11 人)	6.4% (7 人)
80 歳～84 歳	94 人	78.7% (74 人)	12.8% (12 人)	8.5% (8 人)
85 歳以上	85 人	81.2% (69 人)	12.9% (11 人)	5.9% (5 人)

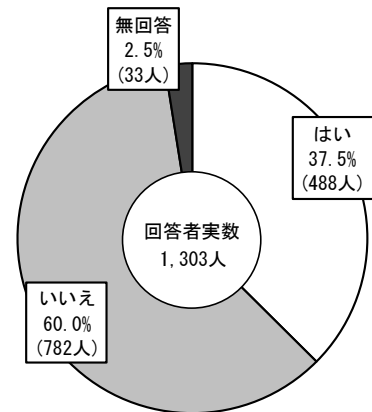
(4) 歯科医院の受診

① 歯科医院の受診状況

歯科医院を受診しているか尋ねたところ、「はい」が37.5%、「いいえ」が60.0%となっており、4割弱が歯科を受診しています。

歯科医院の受診有無別に身体機能リスクの状況を見ると、「受診していない」と回答した人では、多くの項目で、リスク者割合が「受診している」人より高く、特に「知的能動性の低下」、「社会的役割の低下」の項目で、その差が大きいです。

歯科医院の受診状況



リスク者割合の比較（歯科医院の受診別）

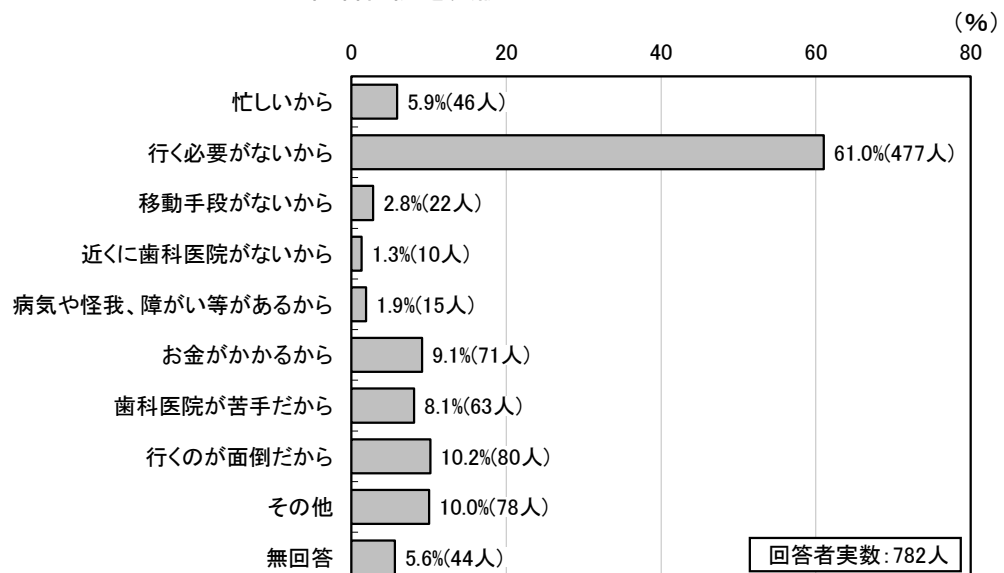
	回答者実数	総合事業	運動機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養の傾向	口腔機能低下
はい (受診している)	488人	28.7% (140人)	15.4% (75人)	29.7% (145人)	15.8% (77人)	1.2% (6人)	23.4% (114人)
いいえ (受診していない)	782人	31.3% (245人)	18.5% (145人)	27.5% (215人)	22.3% (174人)	0.6% (5人)	23.4% (183人)

	回答者実数	うつ傾向	認知機能低下	IADLの低下	知的能動性の低下	社会的役割の低下
はい (受診している)	488人	32.6% (159人)	40.8% (199人)	9.2% (45人)	30.3% (148人)	41.2% (201人)
いいえ (受診していない)	782人	35.4% (277人)	41.9% (328人)	14.7% (115人)	40.2% (314人)	52.1% (407人)

② 歯科医院を受診していない理由

「いいえ」と答えた人に歯科医院を受診していない理由について尋ねると、「行く必要がないから」が61.0%と圧倒的に高くなっています。「行くのが面倒だから」が10.2%となっており、「お金がかかるから」が9.1%、「歯科医院が苦手だから」が8.1%となっています。

歯科医院を受診していない理由



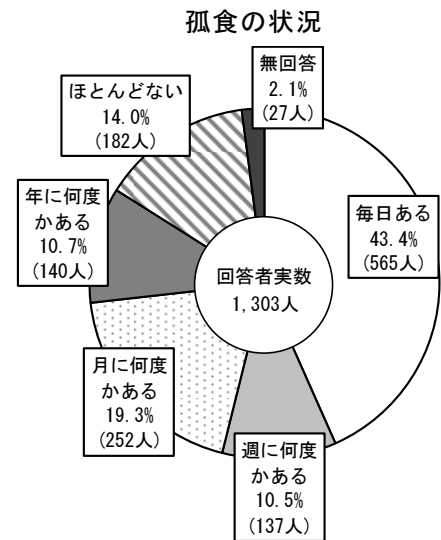
(5) 孤食の状況

だれかと食事をともにする機会の有無を尋ね、孤食の状況を把握しました。

誰かと食事をともにする機会がどの程度あるか尋ねたところ、「毎日ある」が43.4%で4割を占めています。「週に何度かある」は10.5%で、これら2つを合わせると、比較的共食できる状況にある高齢者は5割程度となっています。

「年に何度かある」が10.7%、「ほとんどない」が14.0%で、孤食にある高齢者が24.7%であるほか、「月に何度かある」の19.3%も合わせると、孤食または孤食傾向にある高齢者が44.0%と4割半ばを占めています。

性別で見ると、孤食の高齢者は男性が28.1%、女性が21.8%で、やや男性の方が高くなっています。また、年齢別で見ると、「ほとんどない」は年齢が上がるとともに割合が高くなる傾向にあります。



孤食の状況（性別、年齢別）

	回答者実数	毎日ある	週に 何度かある	孤食傾向の高齢者			無回答
				月に 何度かある	孤食の高齢者		
					年に 何度かある	ほとんどない	
男性	605 人	43.8% (265 人)	8.6% (52 人)	18.0% (109 人)	11.7% (71 人)	16.4% (99 人)	1.5% (9 人)
女性	698 人	43.0% (300 人)	12.2% (85 人)	20.5% (143 人)	9.9% (69 人)	11.9% (83 人)	2.6% (18 人)
65 歳～69 歳	432 人	48.6% (210 人)	11.3% (49 人)	17.4% (75 人)	10.4% (45 人)	11.3% (49 人)	0.9% (4 人)
70 歳～74 歳	410 人	40.7% (167 人)	10.0% (41 人)	22.7% (93 人)	10.5% (43 人)	14.6% (60 人)	1.5% (6 人)
75 歳～79 歳	196 人	41.3% (81 人)	7.7% (15 人)	16.8% (33 人)	12.8% (25 人)	16.3% (32 人)	5.1% (10 人)
80 歳～84 歳	146 人	34.9% (51 人)	12.3% (18 人)	24.0% (35 人)	11.6% (17 人)	13.0% (19 人)	4.1% (6 人)
85 歳以上	119 人	47.1% (56 人)	11.8% (14 人)	13.4% (16 人)	8.4% (10 人)	18.5% (22 人)	0.8% (1 人)

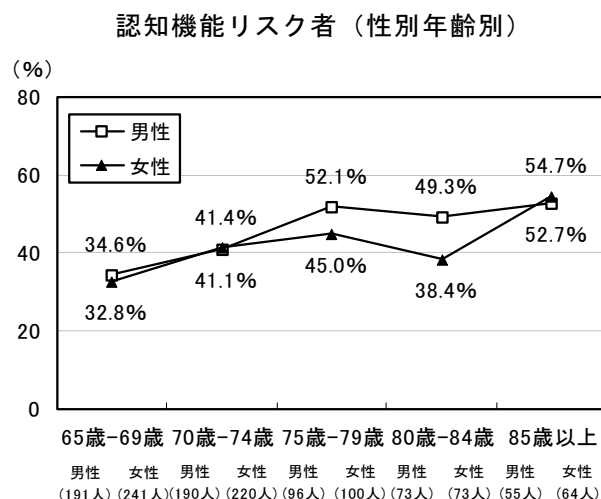
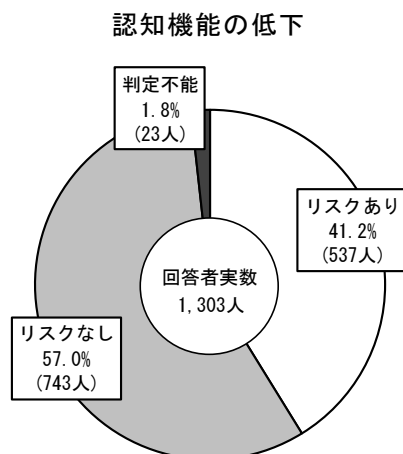
4. 毎日の生活について

(1) 認知機能

① 認知機能の低下者（リスク者）

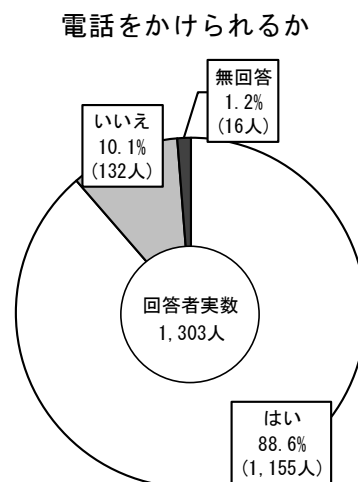
認知機能のリスク者は41.2%で4割強となっています。

性別年齢別で見ると、75歳～84歳では女性より男性が高くなっています。85歳以上では男女ともに5割台で、年齢が上がるとともにリスク者の割合が上昇傾向にあります。



② 電話をかけられるか

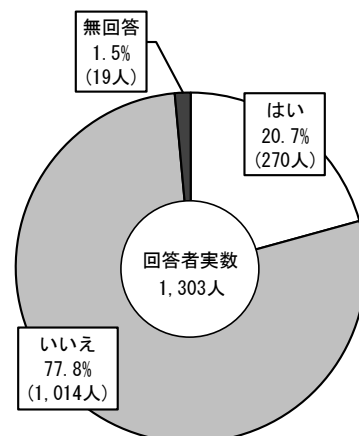
認知機能に関連して、自分で電話番号を調べて電話をかけられるか尋ねたところ、「はい(かけられる)」が88.6%、「いいえ(かけられない)」が10.1%となっています。



③日付がわからない時があるか

認知機能に関連して、今日の日付がわからないときがあるか尋ねたところ、「はい(わからない時がある)」が 20.7%、「いいえ(わからない時はない)」が 77.8%となっています。

日付がわからない時があるか



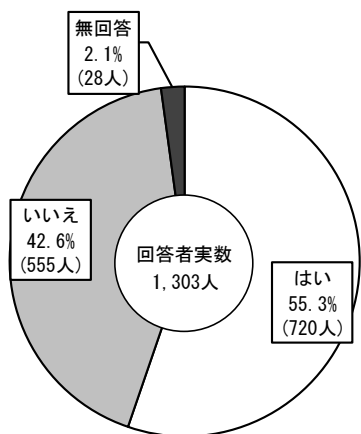
④物をしまった場所がわからなくなることがあるか（独自項目）

認知機能に関連して、物をしまった場所がわからなくなることがあるか尋ねました。

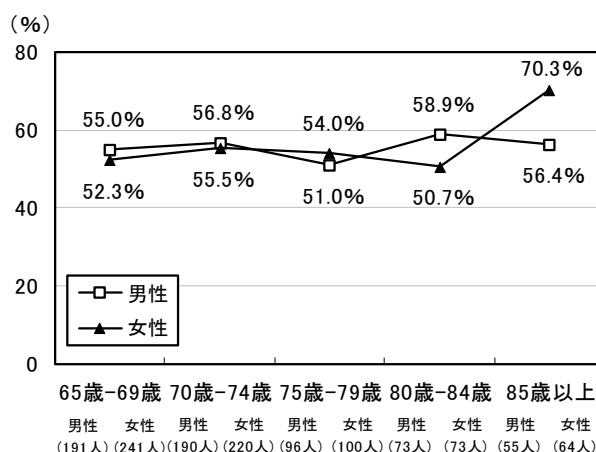
「はい(わからなくなることがある)」は 55.3%、「いいえ(わからなくなことはしない)」が 42.6%で、「はい」が「いいえ」を僅かながら上回っています。

性別年齢別で見ると、79歳までは男女差はほとんどありませんが、85歳以上では女性が上回り 13.9 ポイントの差が開いています。

物をしまった場所が
わからなくなることがあるか



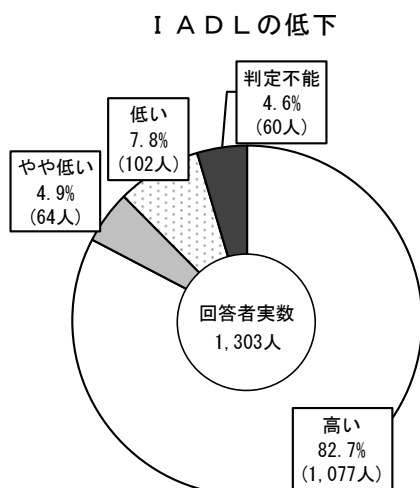
物をしまった場所がわからなくなる
人の割合（性別年齢別）



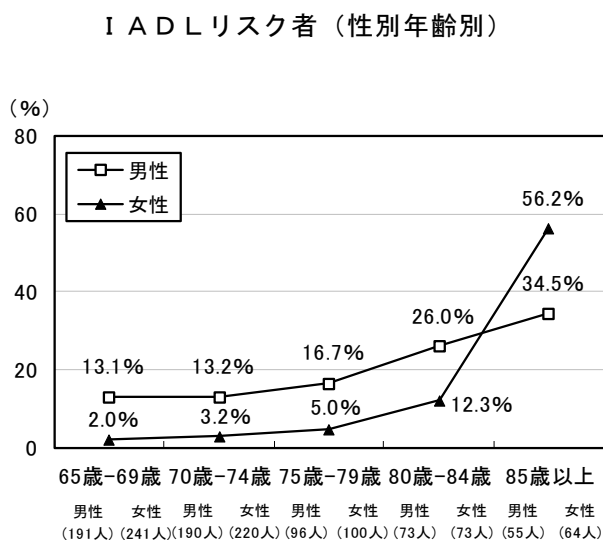
(2) I A D L の低下者（リスク者）

買い物や洗濯・掃除等といった「手段的日常生活動作」である I A D L のリスク者は 12.7% で 1 割となっています。

性別年齢別で見ると、84 歳までは男性の方が高く、85 歳以上では、女性の方がリスク者が高い傾向にあります。また、年齢が上がるとともにリスク者の割合が上昇する傾向となっており、男性は、70 歳～74 歳の 1 割台が、85 歳以上では 3 割半ばと伸びています。女性は、80 歳～84 歳で 1 割ですが、85 歳以上では 5 割半ばに及び、男性を上回っています。



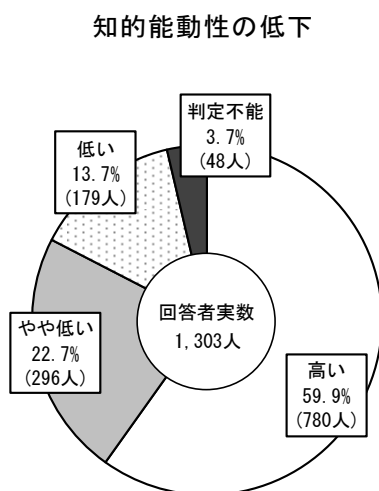
※「やや低い」＋「低い」＝低下者（リスクあり）



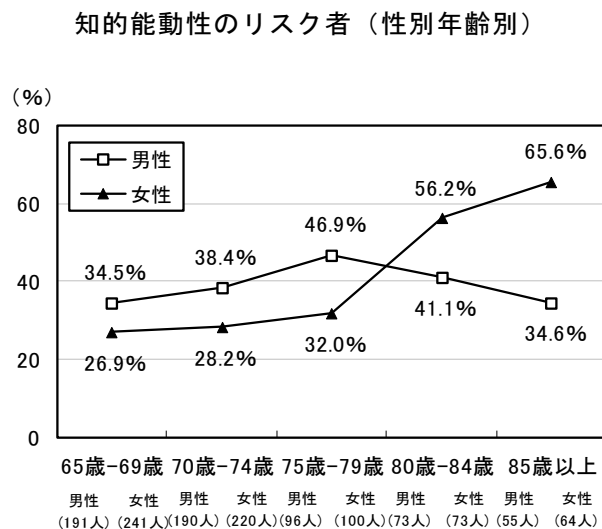
(3) 知的能動性の低下者（リスク者）

「新聞や雑誌等を読んでいるか」、「書類はかけるか」などの能力である知的能動性のリスク者は 36.4% で 3 割半ばに及んでいます。

性別年齢別で見ると、リスク者の割合は、79 歳までは男性が女性を上回っていますが、80 歳からは女性が男性を上回り、85 歳以上は 6 割半ばと女性が大きく伸びています。



※「やや低い」＋「低い」＝低下者（リスクあり）

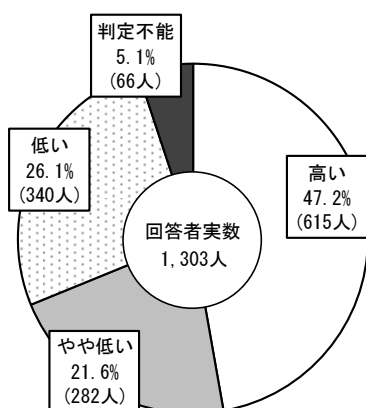


(4) 社会的役割の低下者（リスク者）

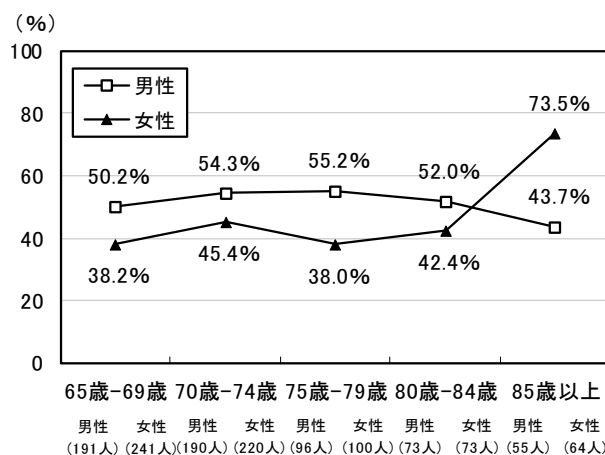
「友人の家を訪問するか」、「若者に話しかけるか」などの能力である社会的役割のリスク者は47.7%で5割近くとなっています。

性別年齢別で見ると、リスク者の割合は84歳までは男性の方が女性より高く、5割台で推移しています。85歳以上では女性が男性を大きく上回っています。

社会的役割の低下



社会的役割リスク者（性別年齢別）



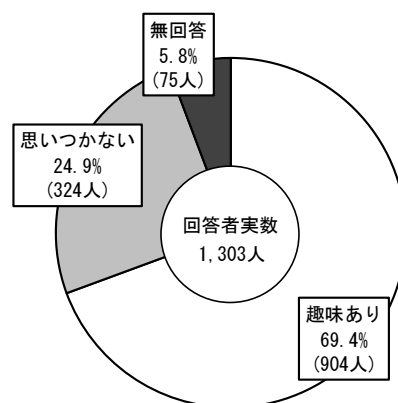
※「やや低い」＋「低い」＝低下者（リスクあり）

(5) 趣味や生きがい

① 趣味の有無

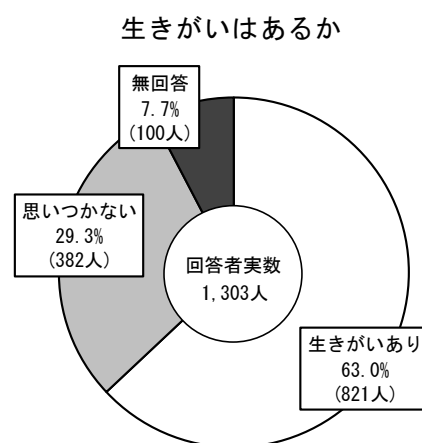
趣味があるか訪ねたところ、「趣味あり」が69.4%、「思いつかない」が24.9%となっています。ほとんどの高齢者が趣味を持っていることがわかります。

趣味の有無



②生きがいはあるか

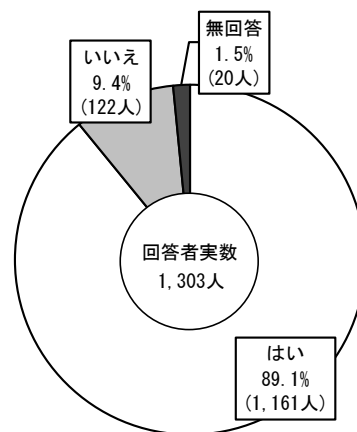
生きがいがあるか訪ねたところ、「生きがいがある」は63.0%、「思いつかない」が29.3%となっています。生きがいのある高齢者が大半を占めていることがわかります。



③健康についての記事や番組に関心があるか

健康についての記事や番組に関心があるか訪ねたところ、「はい」は89.1%となり、関心のある高齢者が大半を占めていることがわかります。

健康についての記事や
番組に関心があるか



5. 地域での活動について

(1) 社会参加

社会参加の程度について尋ねたところ、「参加していない」という回答割合が非常に高く、全において概ね4割を超えており、特に学習・教養サークル、介護予防のための通いの場、老人クラブは5割半ばに及んでいます。全般的に社会参加活動や就労等を行っていない高齢者が多くを占めていることがわかります。

社会参加を「週4回以上」行っているという回答では、「収入のある仕事」がやや高く、17.0%となっています。また、「趣味関係のグループ」は月1～3回参加している人が比較的高く、「自治会」は年に数回という回答が比較的高くなっています。

社会参加

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
ボランティアのグループ	0.9% (12人)	1.3% (17人)	1.2% (16人)	3.9% (51人)	6.8% (89人)	51.2% (667人)	34.6% (451人)
スポーツ関係のグループ やクラブ	3.5% (46人)	4.5% (59人)	3.4% (44人)	4.7% (61人)	3.8% (49人)	47.1% (614人)	33.0% (430人)
趣味関係のグループ	2.7% (35人)	4.1% (54人)	5.8% (76人)	6.8% (89人)	4.9% (64人)	42.9% (559人)	32.7% (426人)
学習・教養サークル	0.4% (5人)	0.8% (10人)	1.8% (23人)	1.2% (16人)	3.6% (47人)	54.7% (713人)	37.5% (489人)
介護予防のための通いの場 (生き生き教室、ワイドー教室、 サロン、長寿大学、等)	1.4% (18人)	1.2% (16人)	3.7% (48人)	1.5% (19人)	0.9% (12人)	56.6% (738人)	34.7% (452人)
老人クラブ	0.8% (10人)	1.3% (17人)	0.2% (3人)	2.6% (34人)	5.4% (71人)	55.1% (718人)	34.5% (450人)
自治会	0.5% (6人)	0.6% (8人)	0.4% (5人)	3.8% (50人)	12.9% (168人)	48.2% (628人)	33.6% (438人)
収入のある仕事	17.0% (221人)	5.1% (66人)	1.1% (14人)	2.5% (32人)	4.5% (59人)	39.3% (512人)	30.6% (399人)

※回答者実数=2,624人

(2) 地域づくりへの参加意向

① 地域づくりへ参加者として参加したいか

地域づくりへの参加意向を尋ねたところ、「是非参加したい」は14.3%、「参加してもよい」は49.6%で、これらを合わせると参加意向は63.9%となっています。

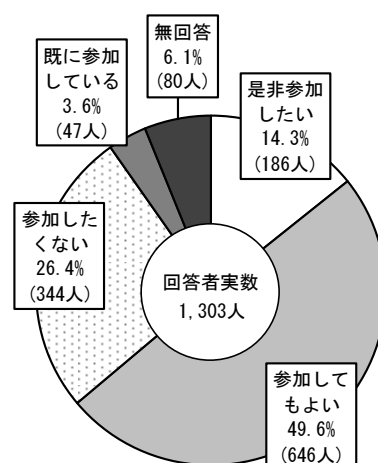
性別で見ると、男女とも「参加してもよい」が5割前後ですが、やや男性の方が高いです。また、「是非参加したい」は男性が11.4%、女性が16.8%で女性の方がやや高くなっています。「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせると、参加意向は男性が63.1%、女性が64.5%となり、若干女性の方が高くなっています。

年齢別に見ると、「是非参加したい」と「参加してもよい」の割合は年代が上がるともに減少する傾向となっており、

「是非参加したい」と「参加してもよい」の割合は特に85歳以上ではそれ以前の年代よりも減少が大きくなっています。「参加してもよい」の割合は、65歳～79歳までの世代は5割台ですが、85歳以上では3割台となっています。

圏域別では、各圏域での大きな差は見られませんが、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた参加意向は、平良圏域Aが71.4%、平良圏域Bが64.8%、下地・上野圏域が63.6%、城辺圏域が62.5%、伊良部圏域が56.8%で、平良圏域Aが高くなっています。

地域づくりへ
参加者として参加したいか



地域づくりへ参加者として参加したいか（性別、年齢別、圏域別）

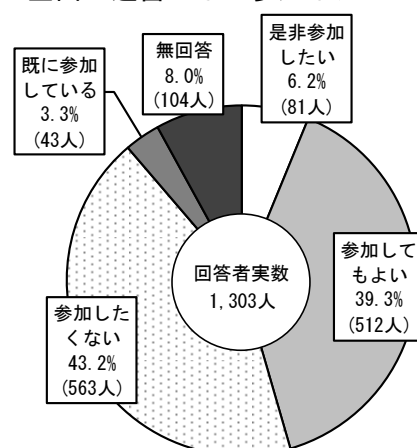
	回答者実数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
男性	605 人	11.4% (69 人)	51.7% (313 人)	27.3% (165 人)	3.6% (22 人)	6.0% (36 人)
女性	698 人	16.8% (117 人)	47.7% (333 人)	25.6% (179 人)	3.6% (25 人)	6.3% (44 人)
65 歳～69 歳	432 人	13.7% (59 人)	52.1% (225 人)	27.3% (118 人)	3.2% (14 人)	3.7% (16 人)
70 歳～74 歳	410 人	15.4% (63 人)	53.2% (218 人)	22.7% (93 人)	2.7% (11 人)	6.1% (25 人)
75 歳～79 歳	196 人	13.3% (26 人)	51.0% (100 人)	25.0% (49 人)	5.1% (10 人)	5.6% (11 人)
80 歳～84 歳	146 人	13.7% (20 人)	45.2% (66 人)	27.4% (40 人)	4.1% (6 人)	9.6% (14 人)
85 歳以上	119 人	15.1% (18 人)	31.1% (37 人)	37.0% (44 人)	5.0% (6 人)	11.8% (14 人)
平良圏域 A	84 人	21.4% (18 人)	50.0% (42 人)	19.0% (16 人)	4.8% (4 人)	4.8% (4 人)
平良圏域 B	725 人	13.1% (95 人)	51.7% (375 人)	25.4% (184 人)	3.6% (26 人)	6.2% (45 人)
城辺圏域	184 人	12.5% (23 人)	50.0% (92 人)	26.1% (48 人)	4.3% (8 人)	7.1% (13 人)
下地・上野圏域	162 人	17.3% (28 人)	46.3% (75 人)	30.2% (49 人)	2.5% (4 人)	3.7% (6 人)
伊良部圏域	148 人	14.9% (22 人)	41.9% (62 人)	31.8% (47 人)	3.4% (5 人)	8.1% (12 人)

②地域づくりへ企画・運営として参加したいか

地域づくりへ企画・運営として参加したいかを尋ねたところ、「是非参加したい」は6.2%、「参加してもよい」は39.3%で、これらを合わせると企画・運営への参加意向は45.5%となっています。前項の地域づくりへの参加意向(63.9%)と比べて低いことがわかります。

圏域別で見ると、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた企画・運営への参加意向は、城辺圏域と下地・上野圏域が50.0%、平良圏域Aが44.0%、平良圏域Bと伊良部圏域が43.9%となっています。

地域づくりへ
企画・運営として参加したいか



地域づくりへ企画・運営として参加したいか（圏域別）

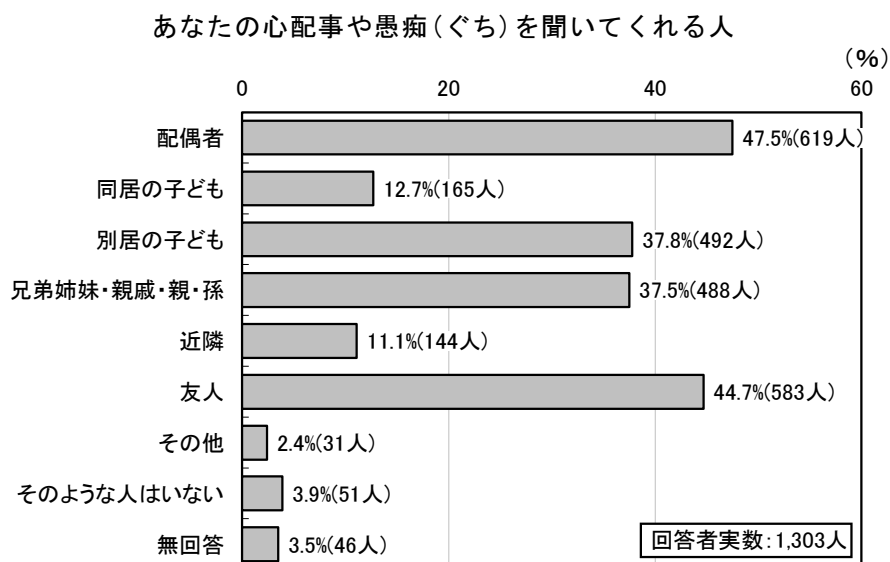
	回答者実数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
平良圏域 A	84 人	10.7% (9 人)	33.3% (28 人)	40.5% (34 人)	7.1% (6 人)	8.3% (7 人)
平良圏域 B	725 人	5.2% (38 人)	38.6% (280 人)	44.8% (325 人)	3.7% (27 人)	7.6% (55 人)
城辺圏域	184 人	6.0% (11 人)	44.0% (81 人)	38.0% (70 人)	1.6% (3 人)	10.3% (19 人)
下地・上野圏域	162 人	8.0% (13 人)	42.0% (68 人)	41.4% (67 人)	1.9% (3 人)	6.8% (11 人)
伊良部圏域	148 人	6.8% (10 人)	37.2% (55 人)	45.3% (67 人)	2.7% (4 人)	8.1% (12 人)

6. たすけあいについて

(1) たすけあいの状況

① 心配事や愚痴を「聞いてくれる人」

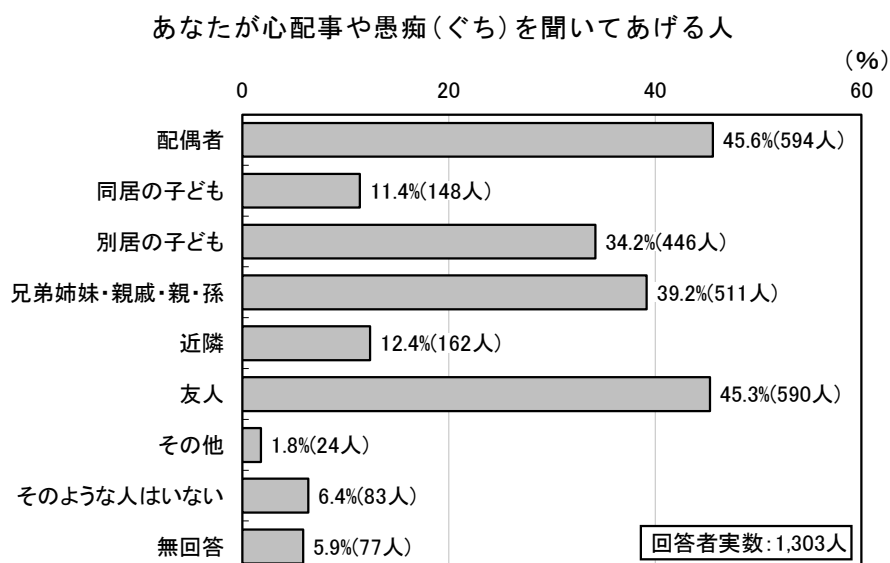
心配事や愚痴を聞いている人について尋ねたところ、「配偶者」が 47.5%と最も高く、続いて、「友人」(44.7%)、「別居の子ども」(37.8%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(37.5%)となっています。



② 心配事や愚痴を「聞いてあげる人」

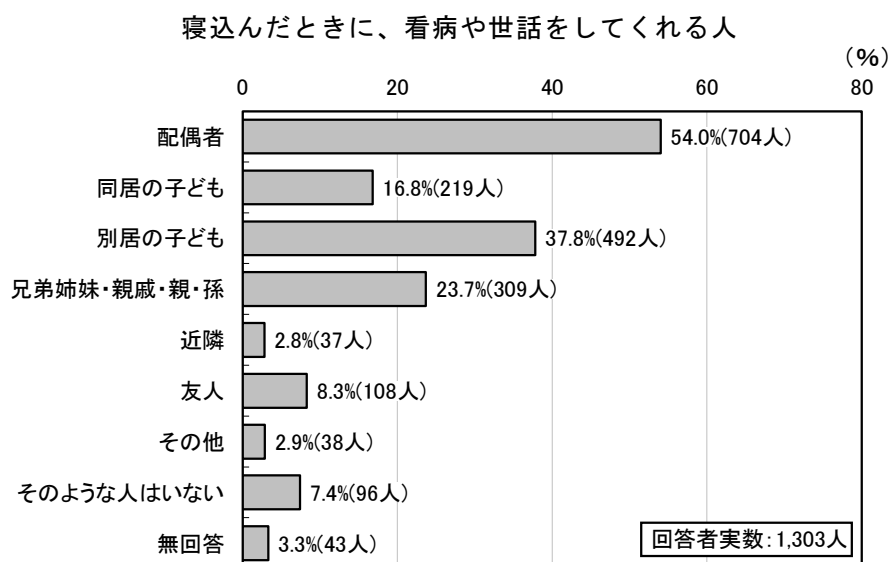
上記項目とは反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人について尋ねたところ、概ね「聞いてくれる人」の集計結果と同様の割合となっています。

「配偶者」が 45.6%、「友人」が 45.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 39.2%でこれら3つが4割余りで高くなっています。また、「別居の子ども」も 34.2%で比較的高いです。



③寝込んだときに看病や世話を「してくれる人」

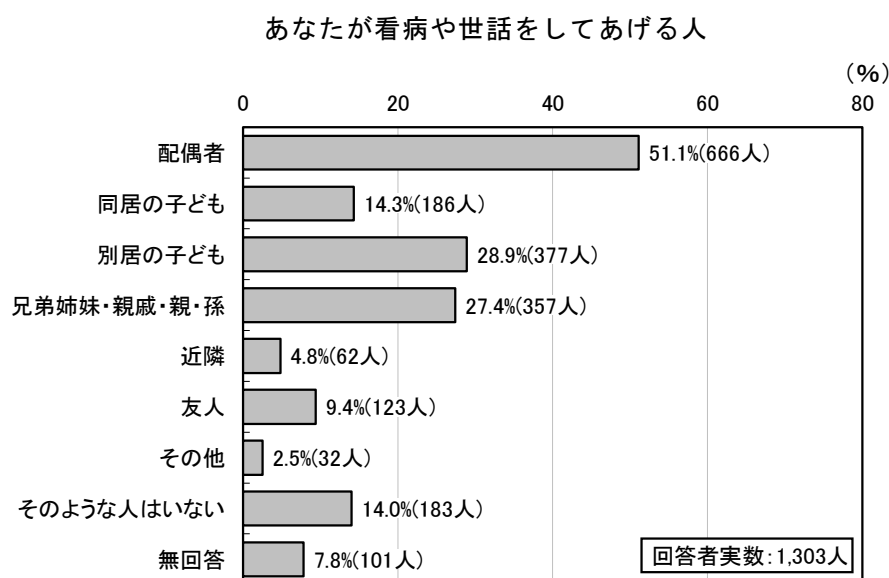
寝込んだときの看病や世話をしてくれる人について尋ねたところ、「配偶者」が 54.0%と半数以上を占め、次いで、「別居の子ども」が 37.8%となっており、これら 2 つが特に高くなっています。また、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 23.7%、「同居の子ども」が 16.8%で、これら 2 つが 2 割余りで比較的高くなっています。



④寝込んだときに看病や世話を「してあげる人」

上記項目とは反対に、寝込んだときの看病や世話をしてあげる人について尋ねました。

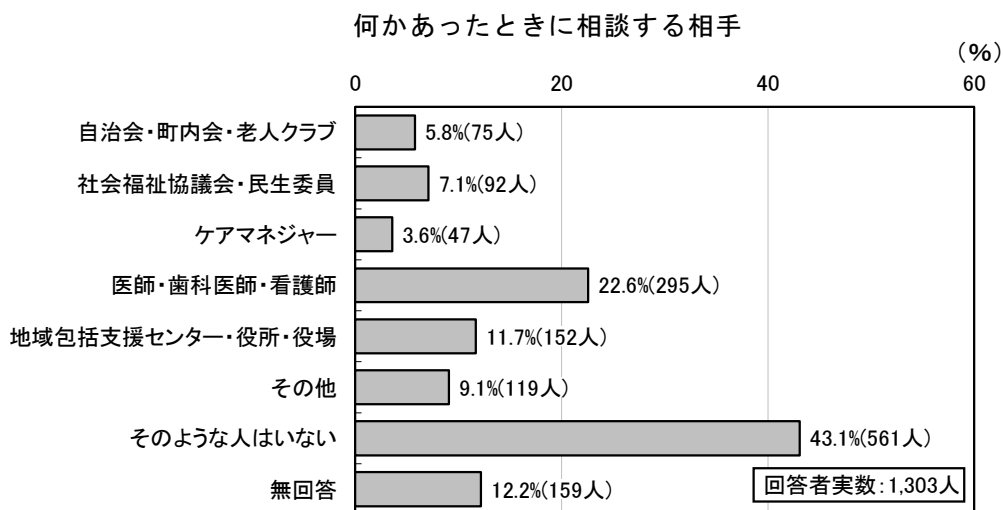
「配偶者」が 51.1%と半数を占め最も高くなっています。また、「別居の子ども」が 28.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 27.4%、「同居の子ども」の 14.3%と続いています。



⑤家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手

家族や友人・知人以外での相談相手について見ると、「医師・歯科医師・看護師」が22.6%で他の項目より高いほか、「地域包括支援センター・役所・役場」が11.7%で比較的高くなっています。

しかし、「そのような人はいない」という回答が本設問で最も高く43.1%を占めています。

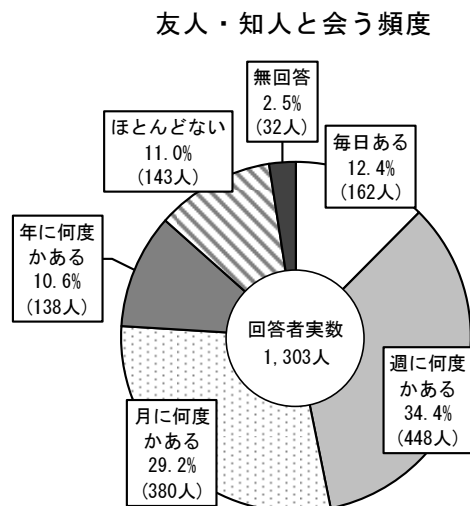


(2) 友人、知人との交流

①友人、知人と会う頻度

友人、知人と会う頻度は、「毎日ある」が12.4%、「週に何度かある」が34.4%で、これらを合わせると4割半ばとなります。また、「月に何度かある」が29.2%で、ここまでの回答を合わせると、友人・知人と会う機会が比較的高齢者が7割半ばを占めます。

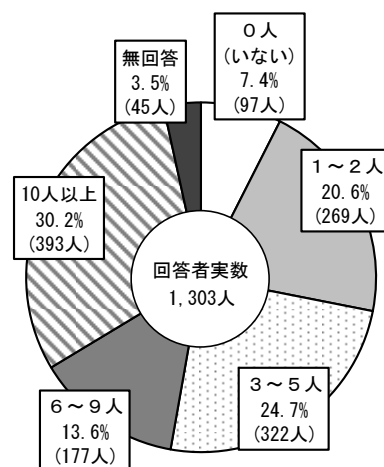
反対に、「ほとんどない」が11.0%、「年に何度かある」が10.6%で、2割は友人・知人とあまり会う機会がないことがわかります。



② 1 か月間に何人の友人、知人と会ったか

この1か月の間に、何人の友人、知人に会ったかを尋ねたところ、「10人以上」が30.2%で最も高く、「3～5人」が24.7%、「1～2人」が20.6%でこれに続いています。

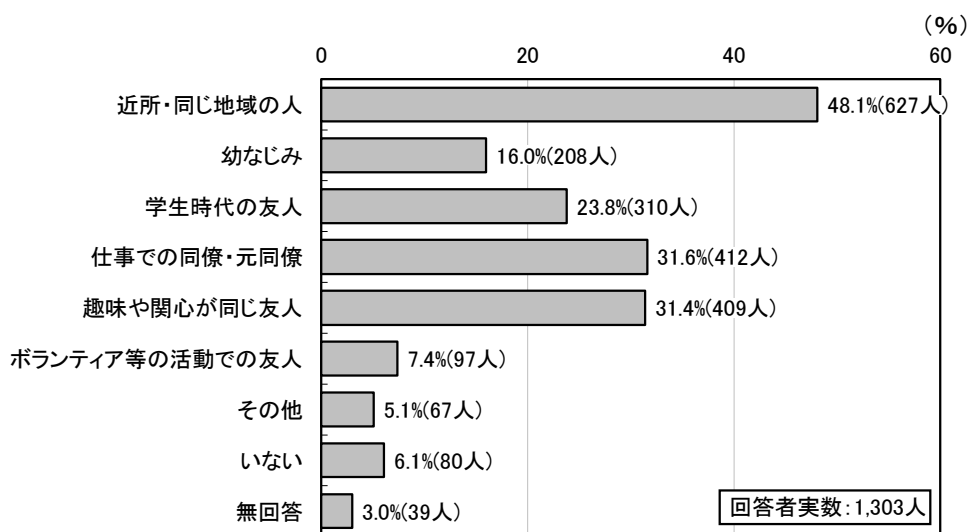
1 か月間に何人の友人、知人と会ったか



③ よく会う友人、知人との関係

よく会う友人、知人はどんな関係の人か尋ねたところ、「近所・同じ地域の人」が48.1%で最も高く、唯一4割を超えています。次いで「仕事での同僚・元同僚」が31.6%、「趣味や関心が同じ友人」が31.4%で3割、「学生時代の友人」が23.8%となっています。

よく会う友人・知人との関係性



7. 健康について

(1) 主観的健康感

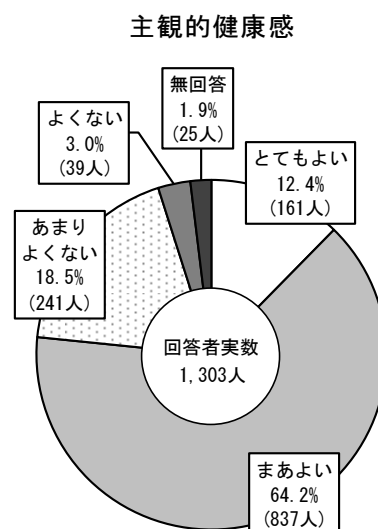
健康状態について尋ねたところ、「まあよい」が 64.2%で圧倒的に高くなっています。また、「とてもよい」は 12.4%で、これら 2 つを合わせると、7 割半ばが健康と回答しています。

性別で見ると、この設問についての男女別の差はほとんどありません。

年齢別に見ると、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた“健康”は年齢が上がるともに割合が減少する傾向にあります。

“健康”は 65 歳～69 歳が 82.4%、70 歳～74 歳が 77.8%、85 歳以上では 58.0%と 6 割弱へと下がっています。また、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた“健康ではない”は年齢が上がるともに割合も上昇する傾向にあり、65 歳～69 歳では 1 割半ばですが、85 歳以上では 3 割半ばを占めています。

幸福度別に見ると、“健康”は 10 点(とても幸せ)が 88.4%、4 点～6 点(普通)が 64.0%、0 点(幸福ではない)が 31.3%となっており、幸福度が高いと“健康”と感じている割合が高くなります。反対に、“健康ではない”は 10 点が 9.1%、4 点～6 点が 35.3%、0 点が 68.8%で、幸福度が低いと“健康ではない”と答えた割合が高いです。



主観的健康感（性別、年齢別）

	回答者実数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
男性	605 人	13.2% (80 人)	60.8% (368 人)	19.5% (118 人)	4.3% (26 人)	2.1% (13 人)
女性	698 人	11.6% (81 人)	67.2% (469 人)	17.6% (123 人)	1.9% (13 人)	1.7% (12 人)
65 歳～69 歳	432 人	13.0% (56 人)	69.4% (300 人)	13.9% (60 人)	2.1% (9 人)	1.6% (7 人)
70 歳～74 歳	410 人	12.4% (51 人)	65.4% (268 人)	18.5% (76 人)	2.0% (8 人)	1.7% (7 人)
75 歳～79 歳	196 人	13.8% (27 人)	64.3% (126 人)	17.3% (34 人)	3.6% (7 人)	1.0% (2 人)
80 歳～84 歳	146 人	11.6% (17 人)	57.5% (84 人)	22.6% (33 人)	5.5% (8 人)	2.7% (4 人)
85 歳以上	119 人	8.4% (10 人)	49.6% (59 人)	31.9% (38 人)	5.9% (7 人)	4.2% (5 人)

主観的健康感（幸福度別）

	回答者実数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
0 点 (幸福ではない)	16 人	6.3% (1 人)	25.0% (4 人)	56.3% (9 人)	12.5% (2 人)	0.0% (0 人)
1 点～3 点 (やや幸福ではない)	58 人	0.0% (0 人)	36.2% (21 人)	44.8% (26 人)	19.0% (11 人)	0.0% (0 人)
4 点～6 点 (普通)	300 人	7.0% (21 人)	57.0% (171 人)	31.7% (95 人)	3.7% (11 人)	0.7% (2 人)
7 点～9 点 (やや幸せ)	545 人	8.1% (44 人)	77.6% (423 人)	11.9% (65 人)	1.5% (8 人)	0.9% (5 人)
10 点 (とても幸せ)	320 人	28.4% (91 人)	60.0% (192 人)	7.8% (25 人)	1.3% (4 人)	2.5% (8 人)

(2) 主観的幸福感

現在の幸福感について、「とても幸せ」を10点、「幸福ではない」を0点として、回答していただきました。

「10点」（とても幸せ）が24.6%、「8点」（幸せ）が19.6%、「5点」（普通）が14.3%と比較的高くなっています。

性別で見ると、「10点」は男女差は見られませんが、「5点」は男性の方が女性より高くなっています。

年齢別に見ると、「5点」では年齢別の差はあまり見られませんが、「10点」では年齢が上がる割合も高くなる傾向にあります。

主観的幸福感（性別、年齢別）

	回答者実数	0点 (幸福ではない)	1点	2点	3点	4点	5点
全体	1,303人	1.2% (16人)	0.7% (9人)	0.8% (11人)	2.9% (38人)	1.9% (25人)	14.3% (186人)
男性	605人	1.3% (8人)	1.2% (7人)	0.8% (5人)	4.0% (24人)	3.0% (18人)	13.6% (82人)
女性	698人	1.1% (8人)	0.3% (2人)	0.9% (6人)	2.0% (14人)	1.0% (7人)	14.9% (104人)
65歳～69歳	432人	0.9% (4人)	0.7% (3人)	1.2% (5人)	3.0% (13人)	1.2% (5人)	15.0% (65人)
70歳～74歳	410人	1.7% (7人)	0.5% (2人)	1.2% (5人)	2.9% (12人)	2.0% (8人)	14.9% (61人)
75歳～79歳	196人	0.5% (1人)	1.0% (2人)	0.5% (1人)	2.6% (5人)	3.6% (7人)	9.2% (18人)
80歳～84歳	146人	1.4% (2人)	0.7% (1人)	0.0% (0人)	4.8% (7人)	0.7% (1人)	17.1% (25人)
85歳以上	119人	1.7% (2人)	0.8% (1人)	0.0% (0人)	0.8% (1人)	3.4% (4人)	14.3% (17人)

	回答者実数	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	無回答
全体	1,303人	6.8% (89人)	12.0% (156人)	19.6% (255人)	10.3% (134人)	24.6% (320人)	4.9% (64人)
男性	605人	6.3% (38人)	10.1% (61人)	22.3% (135人)	8.4% (51人)	24.3% (147人)	4.8% (29人)
女性	698人	7.3% (51人)	13.6% (95人)	17.2% (120人)	11.9% (83人)	24.8% (173人)	5.0% (35人)
65歳～69歳	432人	5.8% (25人)	13.9% (60人)	20.6% (89人)	12.7% (55人)	21.1% (91人)	3.9% (17人)
70歳～74歳	410人	7.8% (32人)	12.9% (53人)	20.7% (85人)	9.5% (39人)	22.9% (94人)	2.9% (12人)
75歳～79歳	196人	8.7% (17人)	9.2% (18人)	19.9% (39人)	9.7% (19人)	29.6% (58人)	5.6% (11人)
80歳～84歳	146人	5.5% (8人)	8.9% (13人)	13.7% (20人)	8.9% (13人)	29.5% (43人)	8.9% (13人)
85歳以上	119人	5.9% (7人)	10.1% (12人)	18.5% (22人)	6.7% (8人)	28.6% (34人)	9.2% (11人)

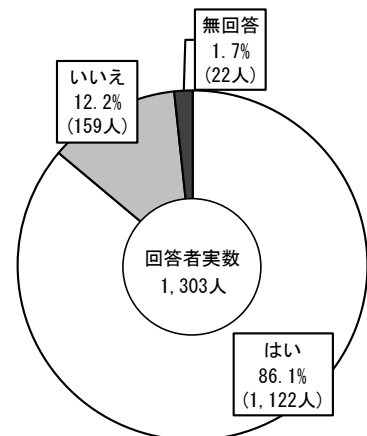
(3) 人とふれあう機会

① 人とふれあう機会の有無

人とふれあう機会の有無について尋ねたところ、「はい」が86.1%と大半を占めています。

反対に、「いいえ」と答えた人が12.2%となっており、1割程度の人が人とふれあう機会がないことがわかります。

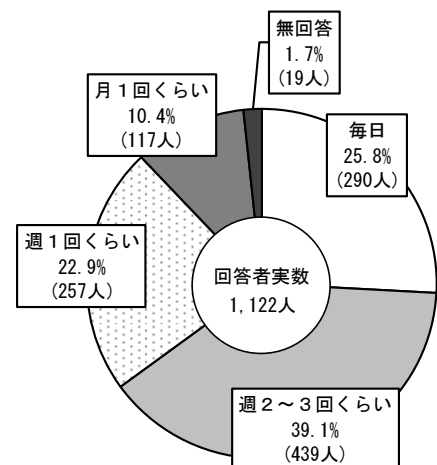
人とふれあう機会の有無



② 人とふれあう機会の頻度

人とふれあう機会の頻度については、「週2～3回」(39.1%)が最も多く、約4割を占めています。また、「毎日」(25.8%)、「週1回くらい」(22.9%)が2割台となっています。

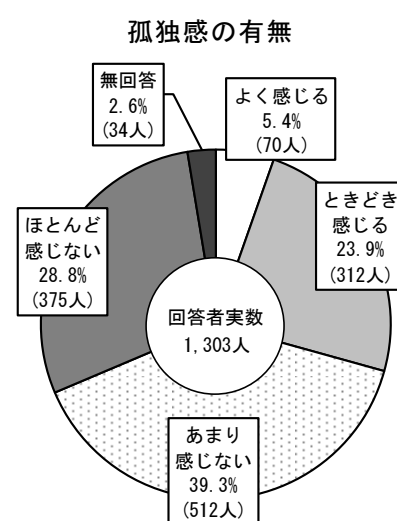
人とふれあう機会の頻度



(4) 孤独感の有無

孤独感については、「あまり感じない」(39.3%)と「ほとんど感じない」(28.8%)を合わせた“孤独感なし”の割合は 68.1%となっています。反対に、「ときどき感じる」(23.9%)と「よく感じる」(5.4%)を合わせた“孤独感あり”は 29.3%となっており、約 3 割が孤独を感じていることがわかります。

孤独感について主観的幸福度別で見ると、主観的幸福度が「0 点(幸福ではない)」、「1 点～3 点(やや幸福ではない)」では孤独感を「よく感じる」と孤独を感じている割合が高く、反対に「7 点～9 点(やや幸せ)」では孤独を「あまり感じない」、「10 点(とても幸せ)」では孤独を「ほとんど感じない」という割合が最も高くなっています。



孤独感の有無（幸福度別）

	回答者実数	よく感じる	ときどき感じる	あまり感じない	ほとんど感じない	無回答
0 点 (幸福ではない)	16 人	50.0% (8 人)	31.3% (5 人)	6.3% (1 人)	12.5% (2 人)	0.0% (0 人)
1 点～3 点 (やや幸福ではない)	58 人	44.8% (26 人)	36.2% (21 人)	10.3% (6 人)	5.2% (3 人)	3.4% (2 人)
4 点～6 点 (普通)	300 人	6.7% (20 人)	42.7% (128 人)	39.3% (118 人)	9.0% (27 人)	2.3% (7 人)
7 点～9 点 (やや幸せ)	545 人	1.3% (7 人)	21.3% (116 人)	48.3% (263 人)	28.8% (157 人)	0.4% (2 人)
10 点 (とても幸せ)	320 人	1.9% (6 人)	8.4% (27 人)	32.2% (103 人)	54.1% (173 人)	3.4% (11 人)

孤独感について家族構成別で見ると、孤独を「よく感じる」は、「1人暮らし」が最も高く10.9%あるほか、「ときどき感じる」が35.6%あり、これらを合わせると46.5%を占めます。

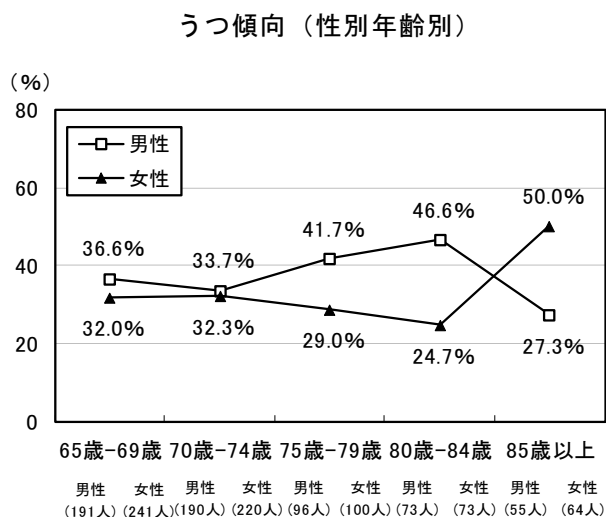
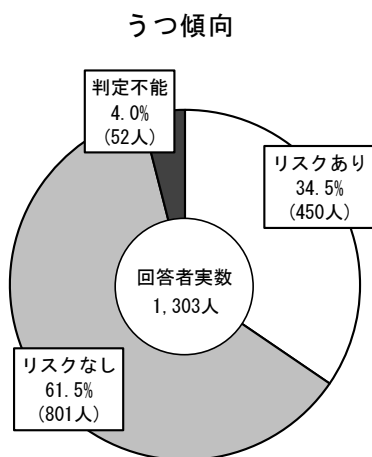
孤独感の有無（家族構成別）

	回答者実数	よく感じる	ときどき感じる	あまり感じない	ほとんど感じない	無回答
1人暮らし	348人	10.9% (38人)	35.6% (124人)	33.3% (116人)	18.4% (64人)	1.7% (6人)
夫婦2人暮らし (配偶者が65歳以上)	537人	2.8% (15人)	18.2% (98人)	42.5% (228人)	33.3% (179人)	3.2% (17人)
夫婦2人暮らし (配偶者が64歳以下)	59人	5.1% (3人)	11.9% (7人)	42.4% (25人)	37.3% (22人)	3.4% (2人)
配偶者以外と 2人暮らし	80人	6.3% (5人)	33.8% (27人)	30.0% (24人)	28.8% (23人)	1.3% (1人)
3人以上の同居世帯	203人	3.0% (6人)	17.2% (35人)	42.9% (87人)	35.0% (71人)	2.0% (4人)
その他	49人	4.1% (2人)	28.6% (14人)	42.9% (21人)	20.4% (10人)	4.1% (2人)

(5) うつ傾向（リスク者）

うつ傾向のリスク者は34.5%で3割半ばとなっています。

性別年齢別で見ると、85歳以上以外では男性の方が高くなっています。男性は84歳までは上昇で推移しますが、85歳以上で約3割となっています。女性は75歳から79歳まではやや減少するものの、その後、85歳以上で5割まで上昇しています。



(6) 喫煙、飲酒の状況

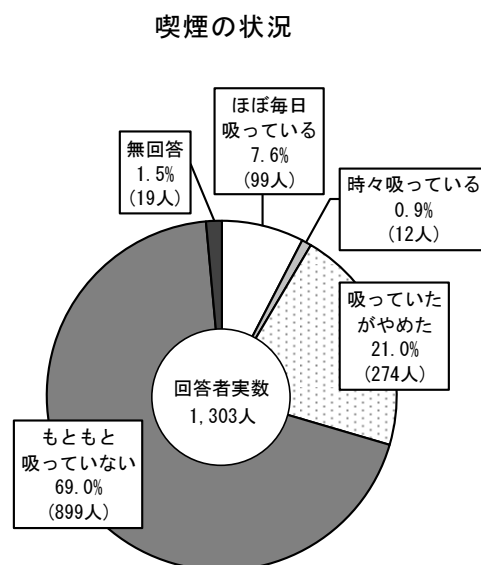
① 喫煙の状況

喫煙について見ると、「もともと吸っていない」が69.0%で、約7割が喫煙の経験がないとしています。これに次いで「吸っていたがやめた」が21.0%で、これら2つを合わせると、現在喫煙していない高齢者が9割を占めます。

喫煙している高齢者は8.5%で、「ほぼ毎日吸っている」が7.6%、「時々吸っている」が0.9%となっています。

喫煙の状況を性別で見ると、「ほぼ毎日吸っている」、「時々吸っている」、「吸っていたがやめた」はそれぞれ男性の方が高く、特に「吸っていたがやめた」は男性の39.5%を占めています。また、女性では「もともと吸っていない」が90.1%で、9割を超える女性が喫煙経験はないと回答しています。

年齢別で見ると、「ほぼ毎日吸っている」は70歳～74歳が10.0%で最も多く、それ以外の年代は10%未満となっています。また、「もともと吸っていない」は年齢が上がるともに増加する傾向にあり、65歳～69歳の66.0%が、85歳以上では79.8%を占めています。



喫煙の状況（性別、年齢別）

	回答者 実数	ほぼ毎日 吸っている	時々 吸っている	吸っていたが やめた	もともと 吸っていない	無回答
男性	605 人	12.9% (78 人)	1.3% (8 人)	39.5% (239 人)	44.6% (270 人)	1.7% (10 人)
女性	698 人	3.0% (21 人)	0.6% (4 人)	5.0% (35 人)	90.1% (629 人)	1.3% (9 人)
65 歳～69 歳	432 人	8.3% (36 人)	1.2% (5 人)	23.1% (100 人)	66.0% (285 人)	1.4% (6 人)
70 歳～74 歳	410 人	10.0% (41 人)	1.2% (5 人)	21.2% (87 人)	66.3% (272 人)	1.2% (5 人)
75 歳～79 歳	196 人	8.2% (16 人)	1.0% (2 人)	21.4% (42 人)	67.9% (133 人)	1.5% (3 人)
80 歳～84 歳	146 人	2.7% (4 人)	0.0% (0 人)	17.1% (25 人)	78.1% (114 人)	2.1% (3 人)
85 歳以上	119 人	1.7% (2 人)	0.0% (0 人)	16.8% (20 人)	79.8% (95 人)	1.7% (2 人)

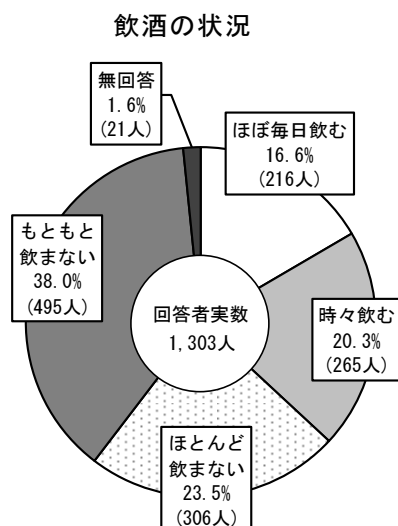
②飲酒の状況

飲酒について見ると、「もともと飲まない」が38.0%で、約4割が飲酒経験なしと回答しています。これに次いで「ほとんど飲まない」が23.5%で、飲酒しない人とほとんど飲まない人を合わせると6割となります。

「ほぼ毎日飲む」は16.6%、「時々飲む」は20.3%で、これら2つを合わせると飲酒する人は36.9%で3割半ばを占めています。

性別で見ると、「ほぼ毎日飲む」、「時々飲む」は男性の方が女性より高く、また「ほとんど飲まない」も男性の方がやや高くなっています。「もともと飲まない」は女性の方が高く、女性の6割を占めています。

年齢別に見ると、飲酒者は65歳～69歳が最も高く、年齢が上がるとともに飲酒する割合は下がる傾向にあります。また、「ほとんど飲まない」は各世代の差はあまりなく、「もともと飲まない」は年代が上がると割合も上がっています。



飲酒の状況（性別、年齢別）

	回答者 実数	ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど 飲まない	もともと 飲まない	無回答
男性	605 人	29.1% (176 人)	30.2% (183 人)	27.4% (166 人)	11.4% (69 人)	1.8% (11 人)
女性	698 人	5.7% (40 人)	11.7% (82 人)	20.1% (140 人)	61.0% (426 人)	1.4% (10 人)
65 歳～69 歳	432 人	20.4% (88 人)	20.8% (90 人)	25.7% (111 人)	31.9% (138 人)	1.2% (5 人)
70 歳～74 歳	410 人	17.3% (71 人)	24.4% (100 人)	22.0% (90 人)	35.6% (146 人)	0.7% (3 人)
75 歳～79 歳	196 人	14.8% (29 人)	17.9% (35 人)	24.0% (47 人)	41.3% (81 人)	2.0% (4 人)
80 歳～84 歳	146 人	12.3% (18 人)	17.1% (25 人)	21.9% (32 人)	45.2% (66 人)	3.4% (5 人)
85 歳以上	119 人	8.4% (10 人)	12.6% (15 人)	21.8% (26 人)	53.8% (64 人)	3.4% (4 人)

(7) 疾病の状況

① 全体的な状況

疾病の状況を見ると、「高血圧」が 50.4%を占めており、他の疾病と比べて圧倒的に高くなっています。高血圧以外では、「目の病気」が 19.6%、「糖尿病」、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」がそれぞれ 1 割前後で比較的高いです。

疾病について、一般高齢者と総合事業対象者別に見ると、一般高齢者、総合事業対象者ともに「高血圧」の割合が最も高く、一般高齢者は約 5 割、総合事業対象者の 5 割半ばを占めています。また、総合事業対象者では、「目の病気」と「糖尿病」が 2 割前後で一般高齢者より高くなっています。

疾病の状況（総合事業対象者一般高齢者別）

	回答者 実数	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・ 脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管 支炎等)
全体	1,303 人	17.2% (224 人)	50.4% (657 人)	3.8% (49 人)	7.6% (99 人)	13.0% (170 人)	7.4% (97 人)	3.8% (50 人)
総合事業 対象者	388 人	11.9% (46 人)	55.2% (214 人)	6.7% (26 人)	9.0% (35 人)	18.8% (73 人)	8.8% (34 人)	5.7% (22 人)
一般高齢者	826 人	20.5% (169 人)	49.2% (406 人)	2.1% (17 人)	6.8% (56 人)	10.0% (83 人)	7.0% (58 人)	2.8% (23 人)

	回答者 実数	胃腸・肝臓・ 胆のうの病気	腎臓・前立 腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう 症、関節症等)	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・ 免疫の病気	うつ病
全体	1,303 人	3.6% (47 人)	6.5% (85 人)	9.0% (117 人)	2.9% (38 人)	2.5% (33 人)	0.9% (12 人)	0.6% (8 人)
総合事業 対象者	388 人	5.2% (20 人)	8.5% (33 人)	14.4% (56 人)	4.9% (19 人)	1.5% (6 人)	1.5% (6 人)	0.5% (2 人)
一般高齢者	826 人	2.8% (23 人)	4.8% (40 人)	6.8% (56 人)	2.1% (17 人)	2.5% (21 人)	0.5% (4 人)	0.6% (5 人)

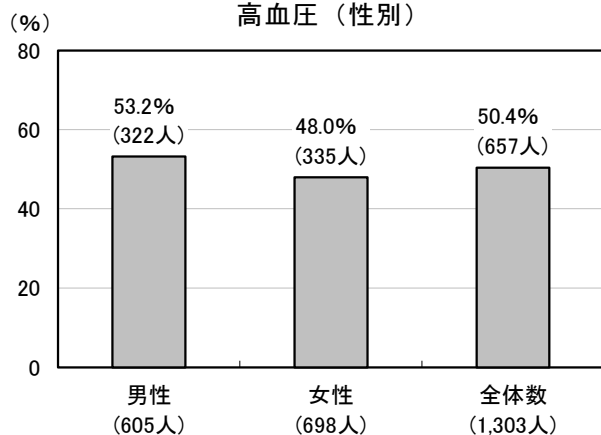
	回答者 実数	認知症 (アルツハイ マー病等)	パーキン ソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体	1,303 人	0.8% (11 人)	0.4% (5 人)	19.6% (255 人)	7.6% (99 人)	9.5% (124 人)	3.5% (45 人)
総合事業 対象者	388 人	2.6% (10 人)	0.8% (3 人)	22.4% (87 人)	10.3% (40 人)	11.9% (46 人)	3.1% (12 人)
一般高齢者	826 人	0.1% (1 人)	0.2% (2 人)	18.2% (150 人)	5.9% (49 人)	8.8% (73 人)	3.1% (26 人)

②高血圧

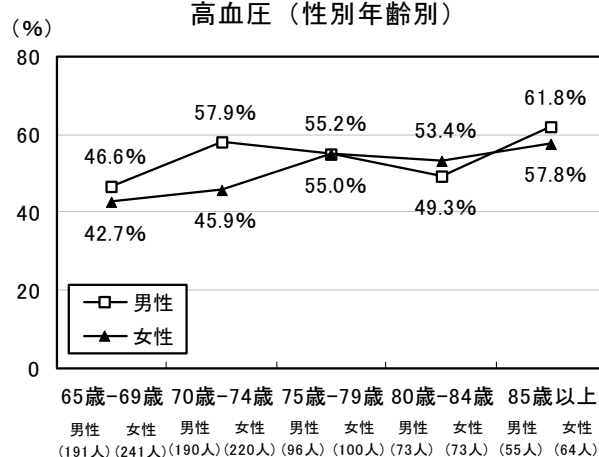
高血圧の該当者(回答者)を性別で見ると、男性は53.2%、女性は48.0%で、男女の差はほとんどありません。

性別年齢別で見ると、概ねすべての年代で男性が高く、84歳までは4割から5割で推移し、85歳以上で6割前後となっています。

高血圧（性別）



高血圧（性別年齢別）

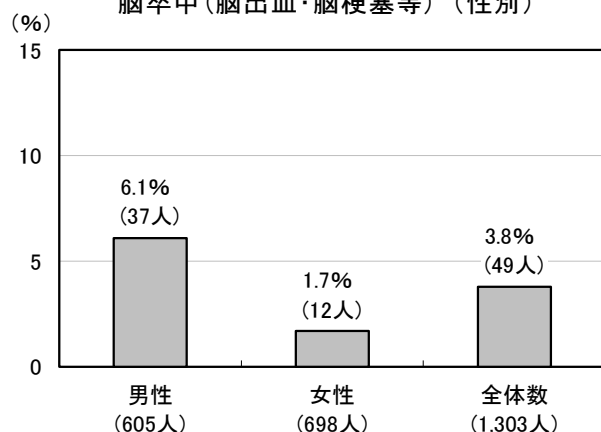


③脳卒中（脳出血・脳梗塞等）

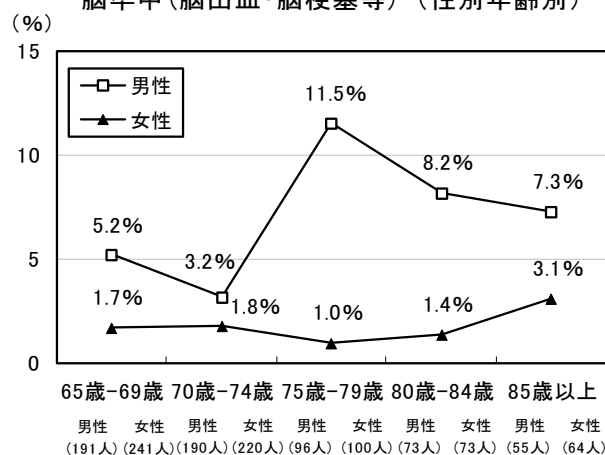
脳卒中の該当者(回答者)を性別で見ると、男性は6.1%、女性は1.7%で、男性の方が高くなっています。

性別年齢別で見ると、すべての年代で男性が高く、特に75歳～79歳が11.5%で最も高く、女性では、84歳までは1割台で推移しますが、85歳以上は3.1%にやや上昇します。

脳卒中（脳出血・脳梗塞等）（性別）



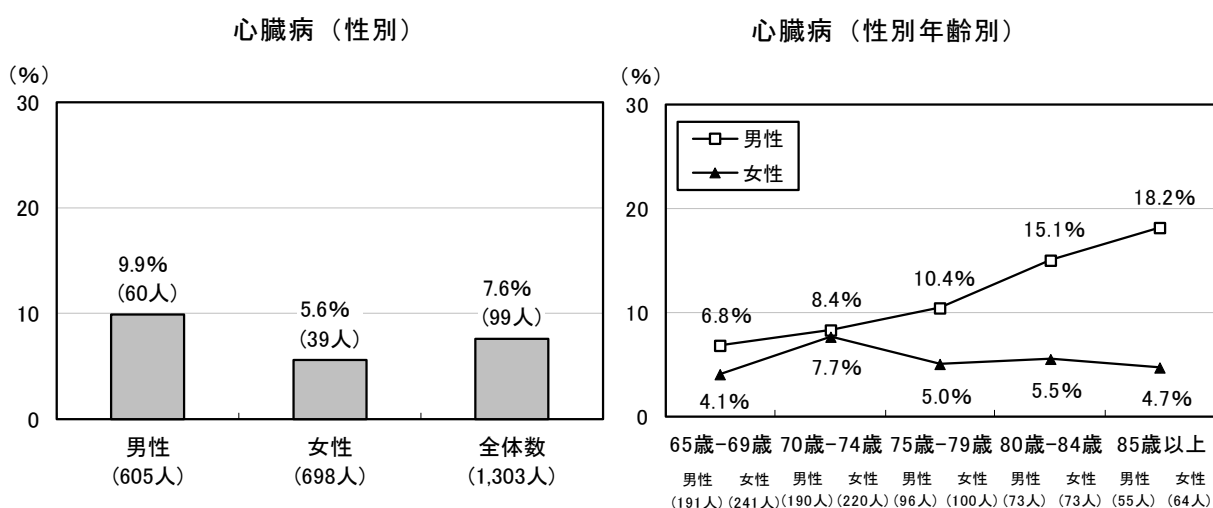
脳卒中（脳出血・脳梗塞等）（性別年齢別）



④心臓病

心臓病の該当者(回答者)を性別で見ると、男性は9.9%、女性は5.6%で、男性の方が高くなっています。

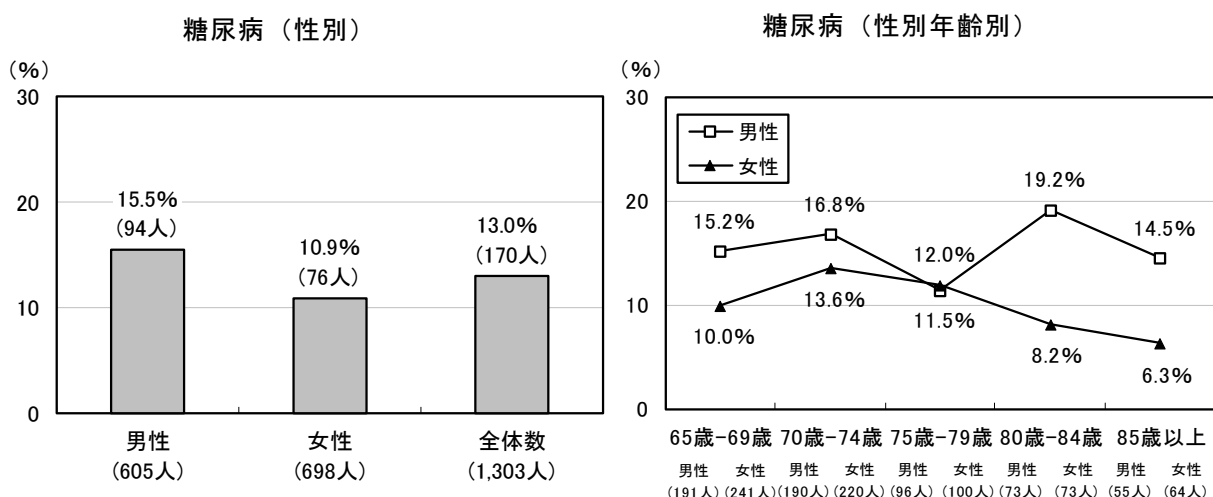
性別年齢別で見ると、男性は年代が上がるとともに割合がやや高くなる傾向にあり、79歳までは1割程度ですが、80歳以降は1割半ばで推移しています。女性では、すべての年代で1割未満となっています。



⑤糖尿病

糖尿病の該当者(回答者)を性別で見ると、男性は15.5%、女性は10.9%で、やや男性の方が高くなっています。

性別年齢別で見ると、男性は80歳～84歳の19.2%が最も高くなっています。女性では、年齢が上がるとともに減少傾向で推移し、85歳以上では6.3%となっています。

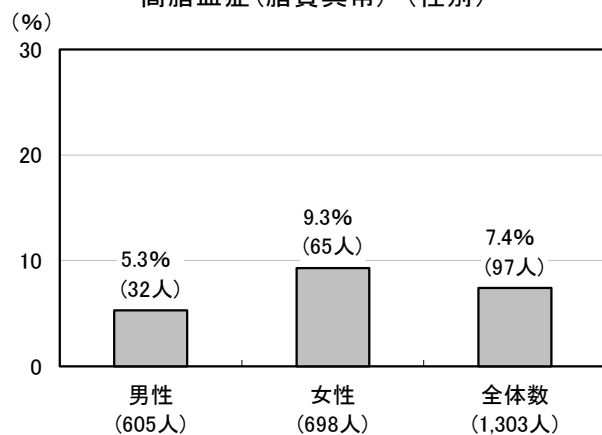


⑥高脂血症（脂質異常）

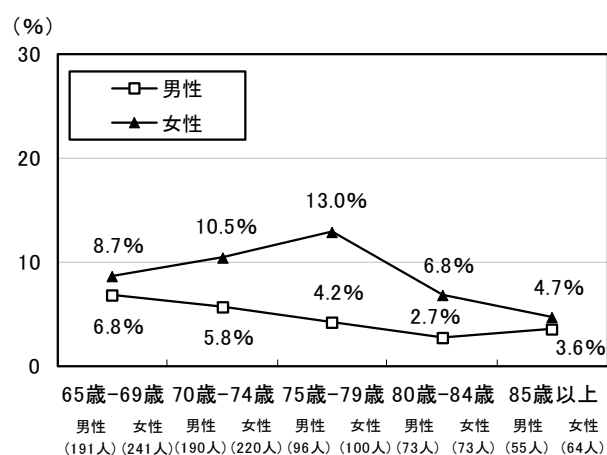
高脂血症の該当者(回答者)を性別で見ると、男性は5.3%、女性は9.3%で、女性の方が高くなっています。

性別年齢別で見ると、各年代とも女性の方が男性を上回っています。また、女性は75歳～79歳をピークに減少、男性は年代が上がると割合は減少する傾向にあります。

高脂血症(脂質異常)（性別）



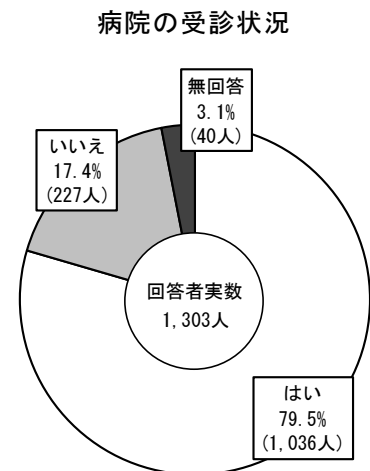
高脂血症(脂質異常)（性別年齢別）



(8) 病院の受診

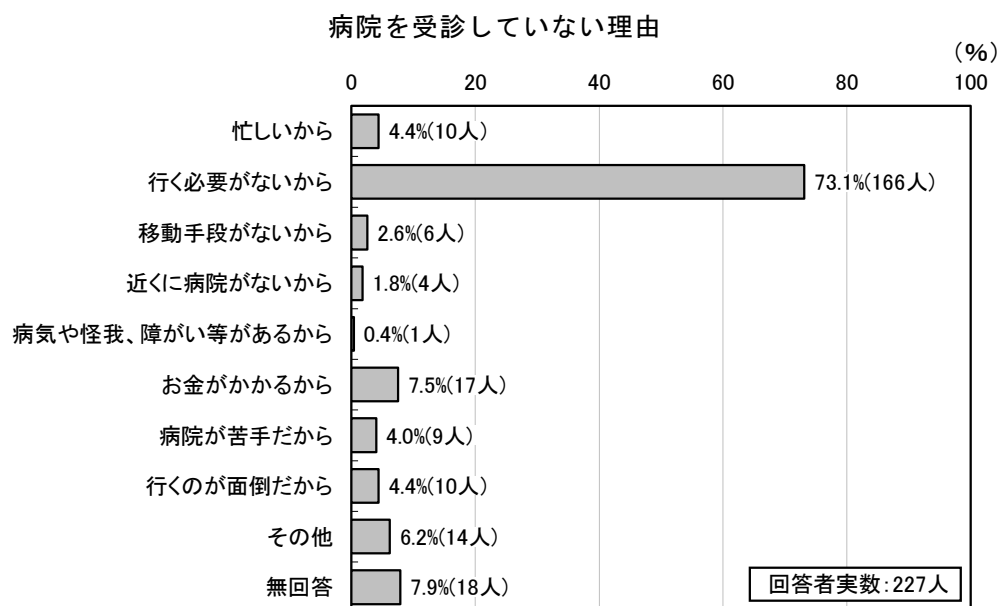
① 病院の受診状況

病院の受診状況について尋ねたところ、「はい(受診している)」が 79.5%、「いいえ(受診していない)」が 17.4%となっており、8割弱が病院で治療を受けています。



② 病院を受診していない理由

「いいえ」と答えた人に病院を受診していない理由について尋ねると、「行く必要がないから」が 73.1%と圧倒的に高くなっています。次いで、「お金がかかるから」が 7.5%とその他の理由は 5%未満となっています。

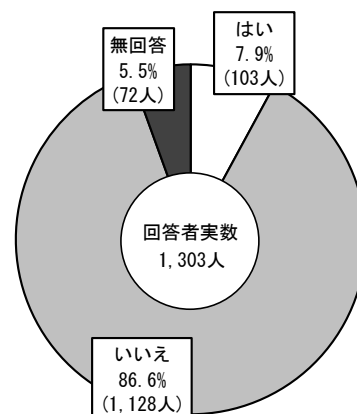


8. 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 家族に認知症の方がいるか

家族に認知症の方がいるか尋ねたところ、「いいえ」が 86.6%と大半を占めています。「はい」は 7.9%となっており、約 1 割の人が家族に認知症の方がいると答えています。

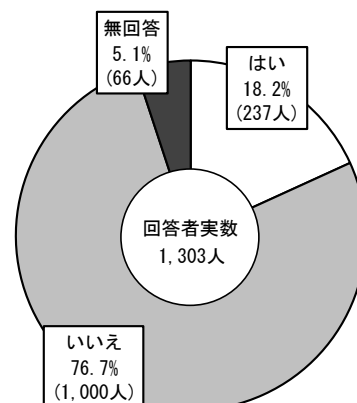
家族に認知症の方がいるか



(2) 認知症に関する相談窓口を知っているか

認知症に関する相談窓口の認知について尋ねたところ、「はい (知っている)」という回答は 18.2%で、相談窓口を知っている人は、およそ 5 人に 1 人となっています。反対に、「いいえ (知らない)」は 76.7%で、7 割半ばの人は認知症に関する相談窓口について知らないと答えています。

認知症に関する
相談窓口を知っているか

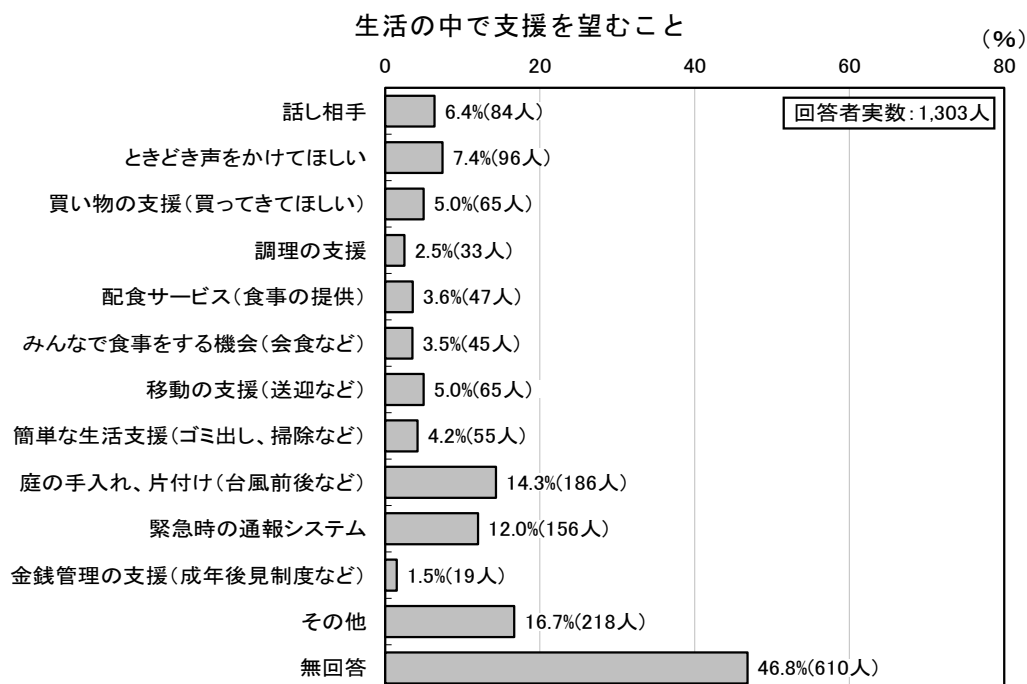


9. その他

(1) 生活の中で支援を望むこと

生活の中で支援を望むことを尋ねたところ、「庭の手入れ、片付け(台風前後など)」(14.3%)、「緊急時の通報システム」(12.0%)が比較的高くなっています。

また、「その他」が16.7%(218人)ありますが、そのうちの80.3%(175人)の記述が「今はない」「特にない」等の理由です。そのほか、「自分でできる」「家族がいる」等の理由があげられています。無回答の46.8%(610人)にも同じ考えが含まれていると思われます。



一般高齢者と総合事業対象者を比べると、支援を望む声は全般的に総合事業対象者の方で高くなっています。中でも、「買い物の支援(買ってきてほしい)」「簡単な生活支援」「庭の手入れ、片づけ(台風前後など)」「移動の支援(送迎など)」「話し相手」では、総合事業対象者と一般高齢者との差が6~9ポイント程度あり、他の支援希望との差より大きくなっています。

生活の中で支援を望むこと (総合事業対象者・一般高齢者別)

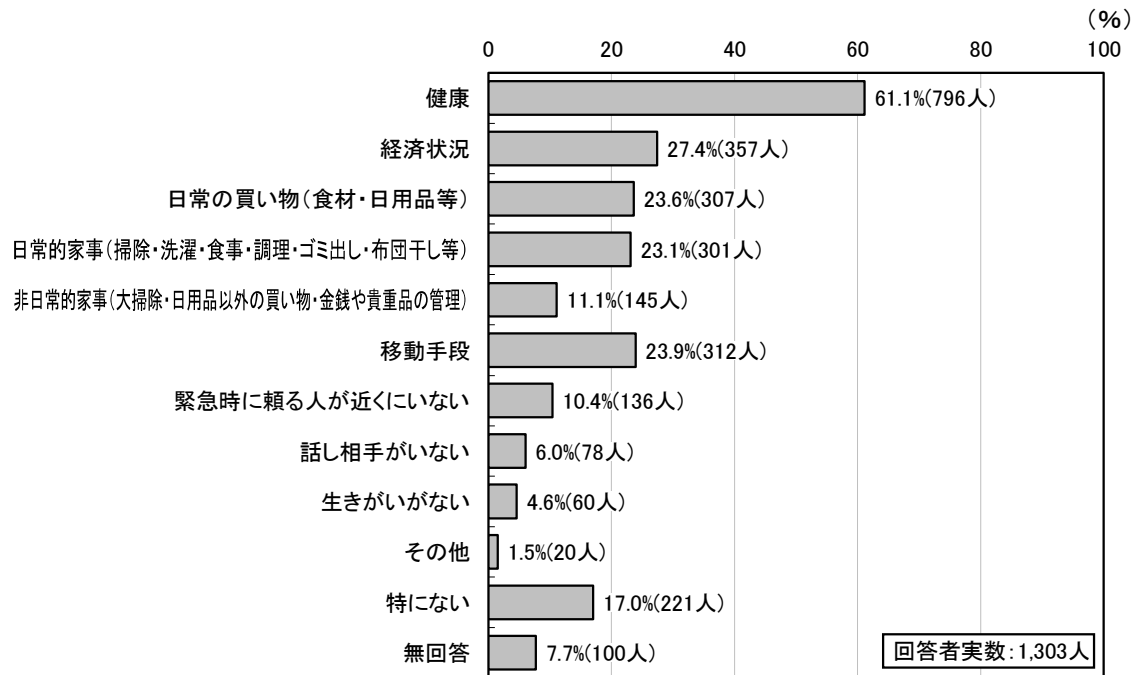
	回答者 実数	話し相手	ときどき声を かけてほしい	買い物の支援 (買ってきて ほしい)	調理の支援	配食サービス (食事の提供)	みんなで食事 をする機会 (会食など)	移動の支援 (送迎など)
総合事業 対象者	388人	10.6% (41人)	10.8% (42人)	11.6% (45人)	4.4% (17人)	7.0% (27人)	3.9% (15人)	9.5% (37人)
一般高齢者	826人	4.2% (35人)	5.7% (47人)	2.1% (17人)	1.5% (12人)	1.8% (15人)	3.4% (28人)	2.8% (23人)
「総合事業」と「一般高齢者」の差		6.4	5.1	9.5	2.9	5.2	0.5	6.7

	回答者 実数	簡単な生活支援 (ゴミ出し、掃除 など)	庭の手入れ、 片付け(台風 前後など)	緊急時の通報 システム	金銭管理の支援 (成年後見制度 など)	その他	無回答
総合事業 対象者	388人	9.8% (38人)	19.3% (75人)	14.4% (56人)	1.8% (7人)	11.3% (44人)	40.2% (156人)
一般高齢者	826人	1.7% (14人)	12.5% (103人)	10.4% (86人)	1.1% (9人)	20.2% (167人)	48.8% (403人)
「総合事業」と「一般高齢者」の差		8.1	6.8	4.0	0.7	-8.9	-8.6

(2) 5年後、10年後、地域で継続して生活し続ける中での不安

5年後、10年後、地域で継続して生活し続ける中での不安を尋ねたところ、「健康」が61.1%と最も高く、そのほか「経済状況」が27.4%、「移動手段」が23.9%、「日常の買い物(食材・日用品等)」が23.6%、「日常的家事(掃除・洗濯・食事・調理・ゴミ出し・布団干し等)」が23.1%で比較的高くなっています。

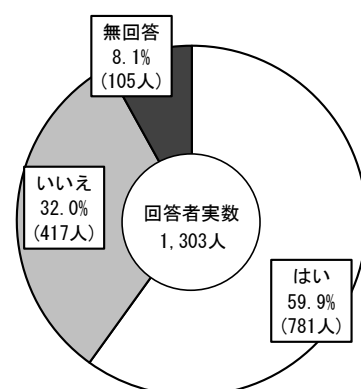
5年後、10年後、地域で継続して生活し続ける中での不安



(3) デイサービス以外に交流ができる場の利用意向

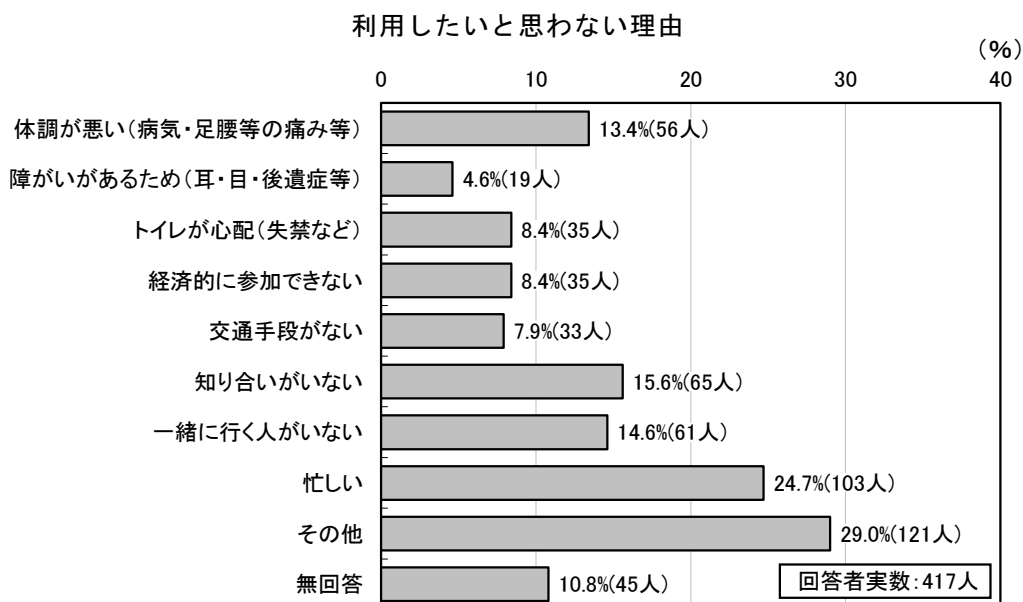
デイサービス以外に地域で気軽に交流ができる場の利用意向を尋ねたところ、「はい」が59.9%と6割を占め、「いいえ」が32.0%となります。

交流ができる場の利用意向



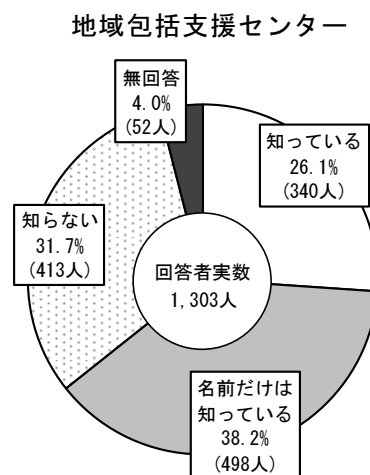
(4) 利用したいと思わない理由

交流ができる場を利用したいと思わない理由を見ると、「忙しい」が 24.7%と高く、次いで「知り合いがいない」が 15.6%、「一緒に行く人がいない」が 14.6%、「体調が悪い(病気・足腰等の痛み等)」が 13.4%となっています。また、今回の調査では「その他」が 29.0%と選択肢の中では最も高くなっていました。



(5) 地域包括支援センター

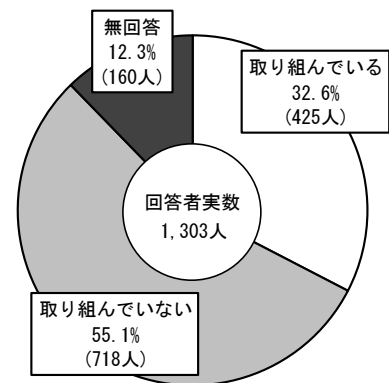
介護や医療、保健、福祉など様々な側面から高齢者を支えるための総合相談ができる地域包括支援センターについて尋ねたところ、「名前だけは知っている」が 38.2%と最も高く、「知っている」の 26.1%で、合わせると 64.3%が知っていると回答しています。また、地域包括支援センターを「知らない」と回答した割合は 31.7%と 3 割を占めています。



(6) 介護予防に取り組んでいるか

介護予防に取り組んでいるか尋ねたところ、「取り組んでいない」が 55.1%と半数を占め、「取り組んでいる」が 32.6%となります。

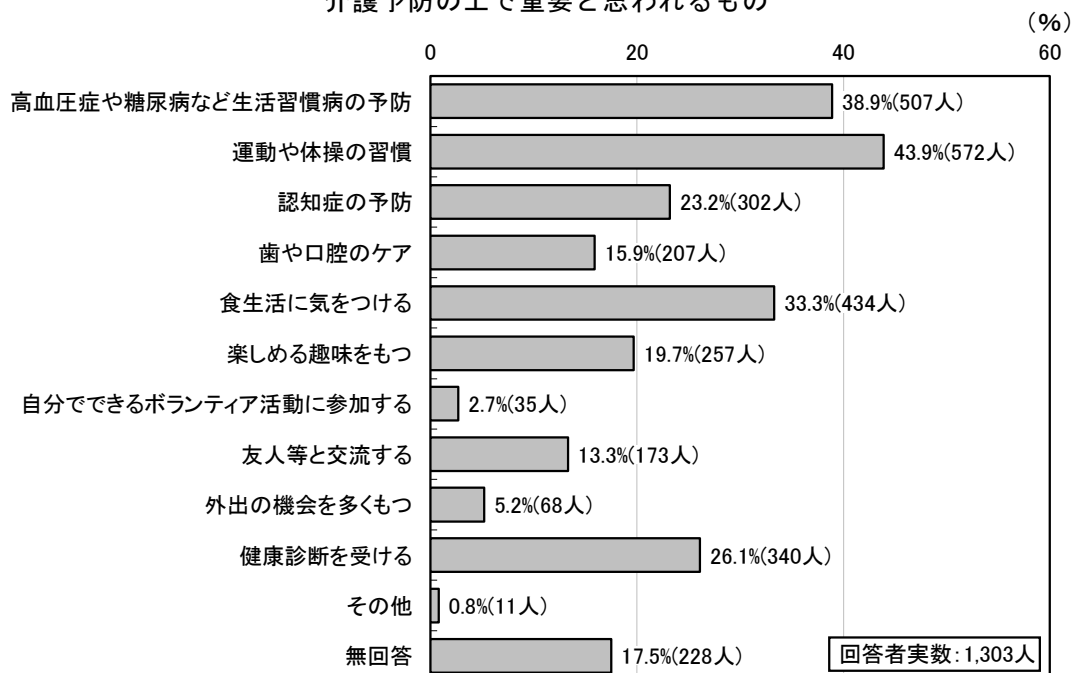
介護予防に取り組んでいるか



(7) 介護予防の上で重要と思われるもの

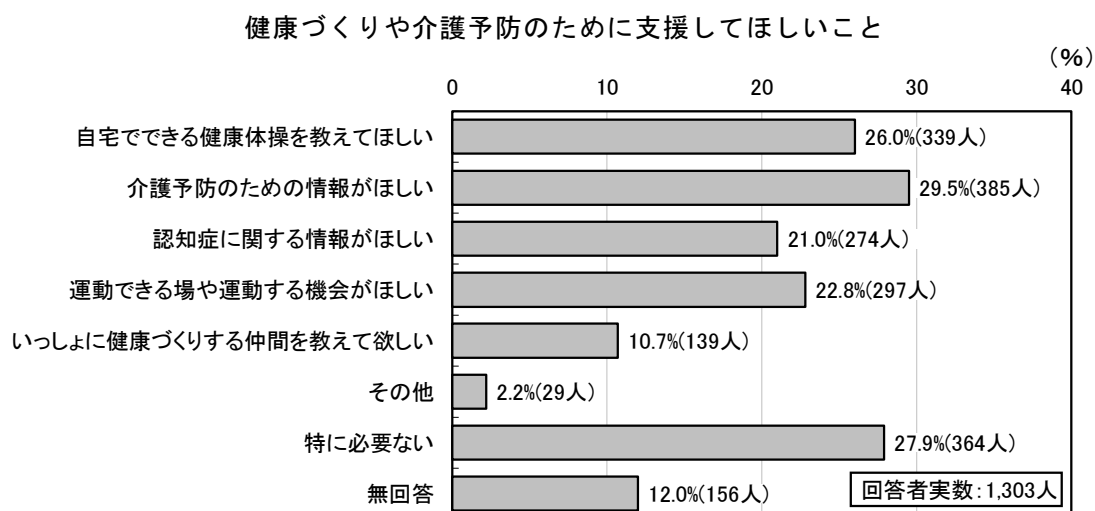
介護予防の上で重要と思われるものを尋ねたところ、「運動や体操の習慣」が 43.9%と最も高く、次いで、「高血圧症や糖尿病など生活習慣病の予防」が 38.9%、「食生活に気をつける」が 33.3%、「健康診断を受ける」が 26.1%、「認知症の予防」が 23.2%で高くなっています。

介護予防の上で重要と思われるもの



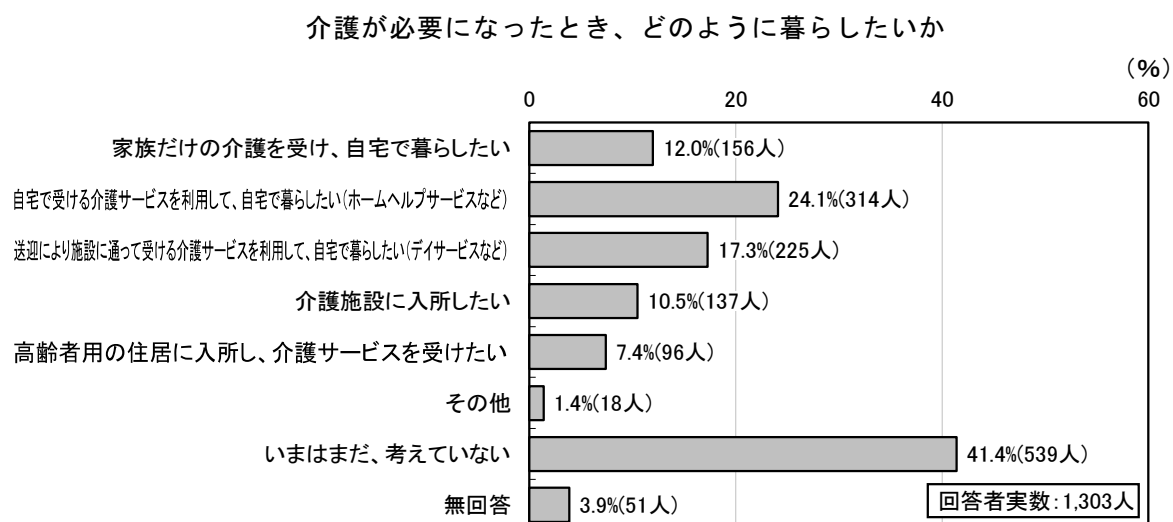
(8) 健康づくりや介護予防のために支援してほしいこと

健康づくりや介護予防のために支援してほしいことについて尋ねたところ、「介護予防のための情報がほしい」が 29.5%と最も高く、次いで、「自宅でできる健康体操を教えてほしい」が 26.0%、「運動できる場や運動する機会がほしい」が 22.8%、「認知症に関する情報がほしい」が 21.0%で高くなっています。



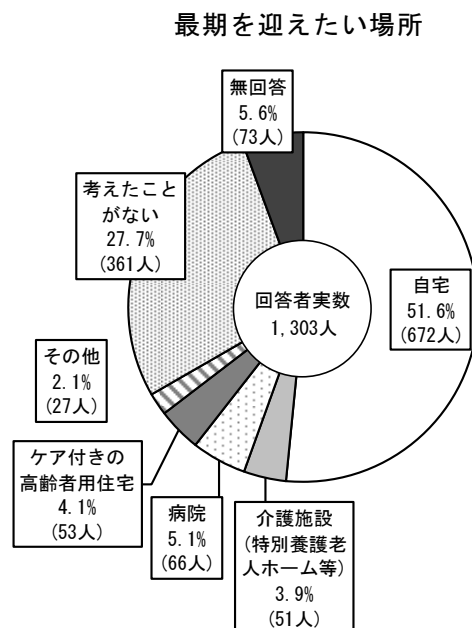
(9) 介護が必要になったとき、どのように暮らしたいか

介護が必要になったとき、どのように暮らしたいか尋ねたところ、「いまはまだ、考えていない」が最も高く 41.4%で4割を占めます。具体的な回答としては、「自宅で受ける介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい(ホームヘルプサービスなど)」が 24.1%、「送迎により施設に通って受ける介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい(デイサービスなど)」が 17.3%で比較的高くなっています。



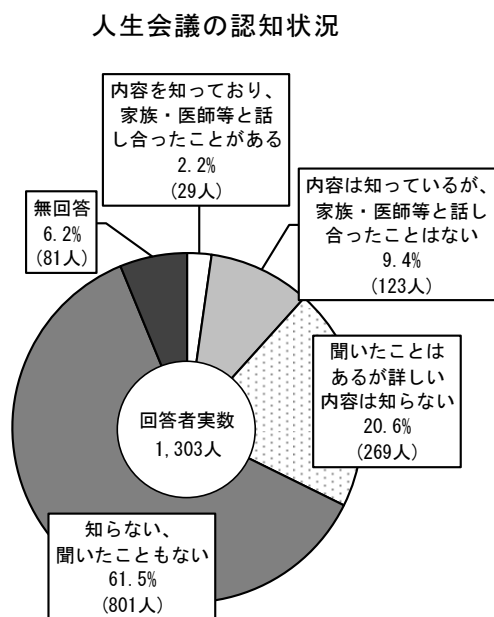
(10) 最期を迎えたい場所

最期を迎えたい場所は、「自宅」が51.6%で最も高く、次いで「病院」が5.1%となっていますが、一方で、約3割が「考えたことがない」と回答しています。



(11) 人生会議の認知状況

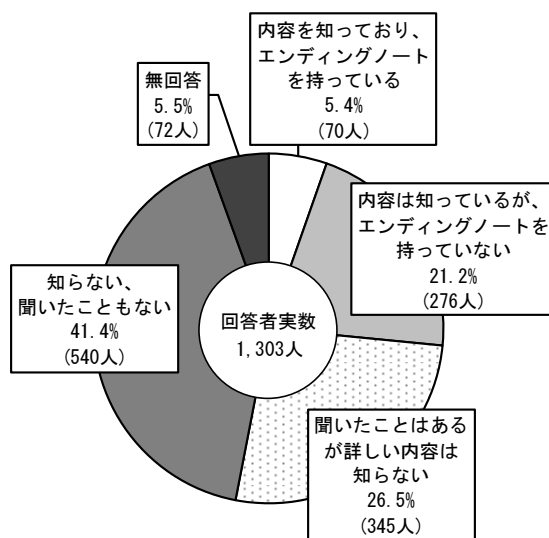
人生会議の認知状況は、「知らない、聞いたこともない」(61.5%)が6割を占めています。内容を知っている割合は11.6%に留まり、内容を知らない割合が82.1%と、大半を占めています。



(12) エンディングノートの認知状況

エンディングノートの認知状況は、「知らない、聞いたこともない」(41.4%)が4割で最も高く、エンディングノートを持っている割合は僅か5.4%となり、持っていない割合が約9割となっています。

エンディングノートの認知状況

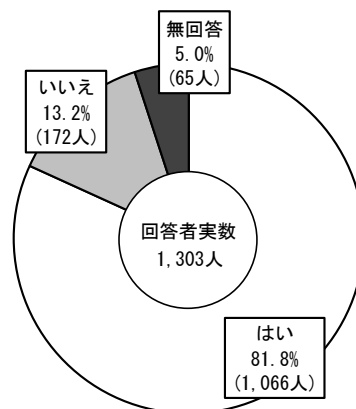


(13) 携帯電話(折りたたみ式、スマートフォン)やタブレット等について

①所持状況

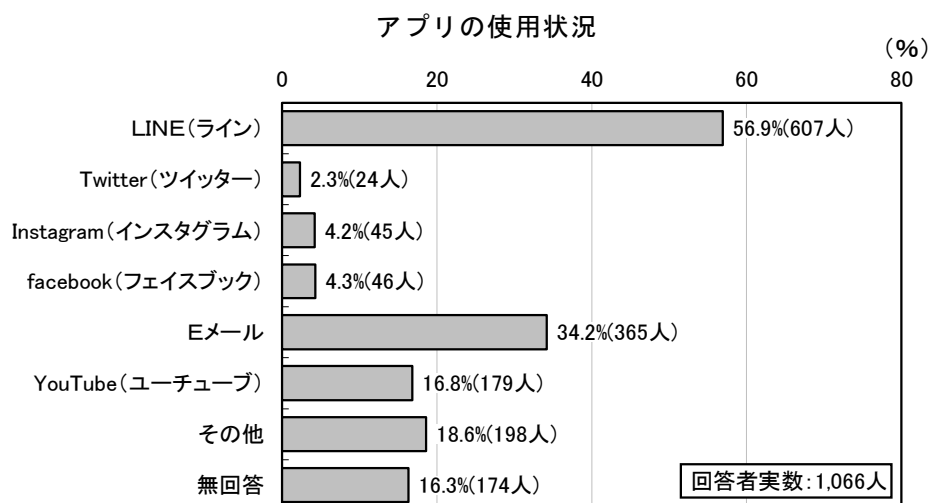
携帯電話(折りたたみ式、スマートフォン)やタブレット等の所持について、所持している割合は81.8%と8割に及んでいます。

携帯電話等の所持状況



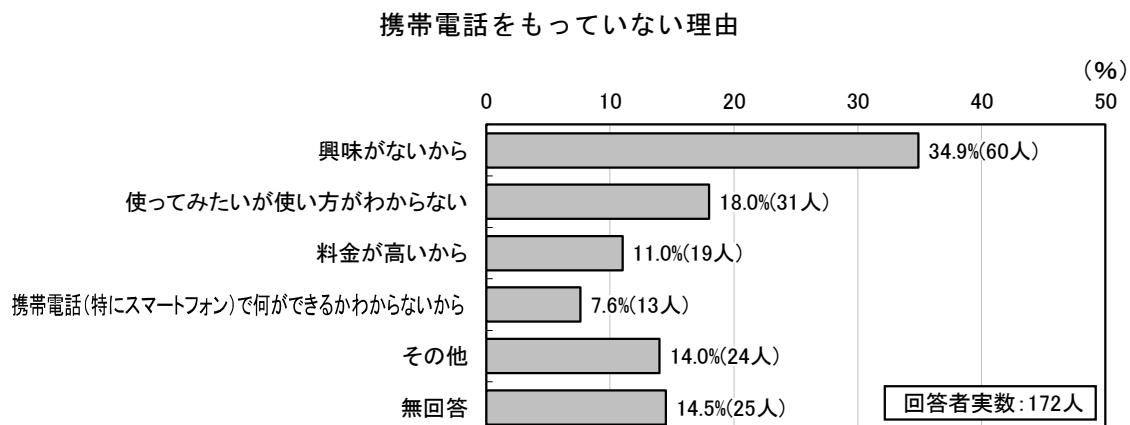
②アプリの使用状況

携帯電話等を所持している人のアプリ使用について、「LINE(ライン)」(56.9%)が5割半ばで最も高く、「Eメール」(34.2%)が3割半ばとなっています。



③携帯電話をもっていない理由

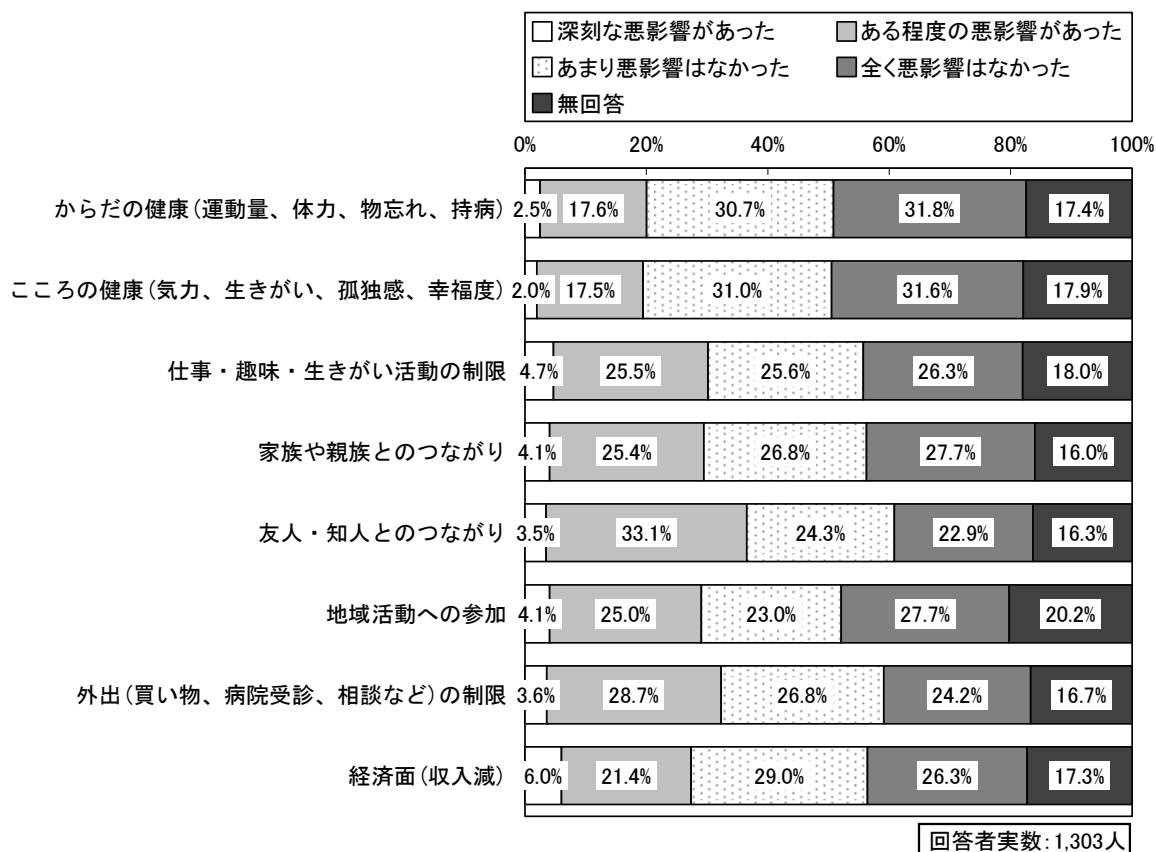
携帯電話をもっていない理由を尋ねたところ、「興味がないから」が34.9%と最も高く、次いで、「使ってみたいが使い方がわからない」が18.0%となっています。



(14) コロナ禍による影響について

コロナ禍による悪影響(「深刻な悪影響があった」と「ある程度の悪影響があった」の和)が最も高かったのは「友人・知人とのつながり」(36.6%)、次いで「外出(買い物、病院受診、相談など)の制限」(32.3%)、「仕事・趣味・生きがい活動の制限」(30.2%)「家族や親族とのつながり」(29.5%)が3割前後となっています。

コロナ禍の前と比べて日常生活に悪影響があったか



10. リスク者割合の比較

(1) 圏域別の比較

リスク者の割合について見ると、市全体では、「社会的役割の低下」が最も高く 47.7%、次いで「認知機能低下」の 41.2%となっています。そのほか、「知的能動性の低下」と「うつ傾向」がそれぞれ3割半ばで比較的高くなっています。

圏域別に見ると、平良圏域Aでは、「うつ傾向」、「社会的役割の低下」、「知的能動性の低下」、「総合事業(の対象者)」、「認知機能低下」が4割前後で高くなっています。

平良圏域Bは、ほとんどのリスク項目において他地域よりも低いリスク者割合となっていますが、「社会的役割の低下」が約5割、「認知機能低下」が約4割で高くなっています。

城辺圏域は、「社会的役割の低下」が5割を超え高く、「認知機能低下」、「知的能動性の低下」が4割台となっています。

下地・上野圏域は、「認知機能低下」、「社会的役割の低下」が4割半ばで高くなっています。

伊良部圏域は、「社会的役割の低下」が4割で高くなっています。

リスク者割合の比較

	回答者実数	総合事業	運動機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養の傾向	口腔機能低下
全体	1,303 人	29.8% (388 人)	17.4% (227 人)	28.1% (366 人)	19.8% (258 人)	0.8% (11 人)	23.3% (304 人)
平良圏域A	84 人	39.3% (33 人)	23.8% (20 人)	29.8% (25 人)	25.0% (21 人)	2.4% (2 人)	31.0% (26 人)
平良圏域B	725 人	27.4% (199 人)	14.2% (103 人)	26.9% (195 人)	15.7% (114 人)	0.6% (4 人)	21.5% (156 人)
城辺圏域	184 人	34.2% (63 人)	22.8% (42 人)	34.2% (63 人)	28.8% (53 人)	0.5% (1 人)	26.6% (49 人)
下地・上野圏域	162 人	30.9% (50 人)	21.6% (35 人)	26.5% (43 人)	17.9% (29 人)	0.6% (1 人)	22.2% (36 人)
伊良部圏域	148 人	29.1% (43 人)	18.2% (27 人)	27.0% (40 人)	27.7% (41 人)	2.0% (3 人)	25.0% (37 人)

	回答者実数	うつ傾向	認知機能低下	I A D L の低下	知的能動性の低下	社会的役割の低下
全体	1,303 人	34.5% (450 人)	41.2% (537 人)	12.7% (166 人)	36.4% (475 人)	47.7% (622 人)
平良圏域A	84 人	44.0% (37 人)	38.1% (32 人)	17.8% (15 人)	41.6% (35 人)	41.7% (35 人)
平良圏域B	725 人	35.0% (254 人)	39.7% (288 人)	10.5% (76 人)	33.5% (243 人)	48.8% (354 人)
城辺圏域	184 人	37.0% (68 人)	46.2% (85 人)	17.9% (33 人)	42.9% (79 人)	51.7% (95 人)
下地・上野圏域	162 人	29.6% (48 人)	46.9% (76 人)	14.8% (24 人)	38.9% (63 人)	45.1% (73 人)
伊良部圏域	148 人	29.1% (43 人)	37.8% (56 人)	12.2% (18 人)	37.1% (55 人)	43.9% (65 人)

(2) 世帯構成別の比較

リスク者割合を世帯構成別に見ると、「1人暮らし」では「社会的役割の低下」が5割を超え高く、「うつ傾向」、「知的能動性の低下」、「認知機能低下」が4割となっています。

「夫婦2人暮らし(配偶者が65歳以上)」では、「社会的役割の低下」、「認知機能低下」が4割で高くなっています。

「夫婦2人暮らし(配偶者が64歳以下)」では、「社会的役割の低下」「知的能動性の低下」が4割を超え高くなっています。

「配偶者以外と2人暮らし」では、「社会的役割の低下」が最も高く6割となっており、そのほか「知的能動性の低下」も4割となっています。

リスク者割合の比較（世帯別）

	回答者実数	総合事業	運動機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養の傾向	口腔機能低下
1人暮らし	348人	31.9% (111人)	19.0% (66人)	28.7% (100人)	22.1% (77人)	0.6% (2人)	25.3% (88人)
夫婦2人暮らし (配偶者が65歳以上)	537人	28.5% (153人)	14.5% (78人)	27.4% (147人)	17.5% (94人)	0.9% (5人)	21.8% (117人)
夫婦2人暮らし (配偶者が64歳以下)	59人	23.7% (14人)	10.2% (6人)	25.4% (15人)	13.6% (8人)	0.0% (0人)	16.9% (10人)
配偶者以外と 2人暮らし	80人	32.5% (26人)	21.3% (17人)	31.3% (25人)	27.5% (22人)	2.5% (2人)	27.5% (22人)
3人以上の同居 世帯	203人	29.1% (59人)	18.2% (37人)	26.1% (53人)	20.7% (42人)	1.0% (2人)	21.7% (44人)
その他	49人	36.7% (18人)	34.7% (17人)	32.7% (16人)	16.3% (8人)	0.0% (0人)	26.5% (13人)

	回答者実数	うつ傾向	認知機能低下	IADLの低下	知的能動性の低下	社会的役割の低下
1人暮らし	348人	43.4% (151人)	40.2% (140人)	8.9% (31人)	41.9% (146人)	52.8% (184人)
夫婦2人暮らし (配偶者が65歳以上)	537人	28.7% (154人)	41.5% (223人)	11.8% (63人)	31.3% (168人)	43.2% (232人)
夫婦2人暮らし (配偶者が64歳以下)	59人	33.9% (20人)	35.6% (21人)	11.9% (7人)	42.3% (25人)	47.4% (28人)
配偶者以外と 2人暮らし	80人	38.8% (31人)	38.8% (31人)	10.0% (8人)	40.0% (32人)	62.5% (50人)
3人以上の同居 世帯	203人	30.5% (62人)	40.4% (82人)	16.3% (33人)	31.5% (64人)	44.4% (90人)
その他	49人	44.9% (22人)	51.0% (25人)	28.6% (14人)	49.0% (24人)	46.9% (23人)

(3) 歯の状況別の比較

歯の健康状況別にリスク者割合を見ると、かみ合わせについては全ての項目で、「かみ合わせが悪い」人の方が「かみ合わせが良い」人よりリスク者割合が高くなっています。

また、入れ歯や歯の本数との関係を見ると、「歯は 10 本未満」の方が「歯は 10 本以上」よりリスク者割合が高い項目が多くなっています。

また、入れ歯の利用の有無については、「入れ歯の利用なし」の方が「入れ歯を利用している」に比べてリスク者割合が高くなっています。

歯のかみ合わせが悪いと様々なリスクを抱える傾向があることや、自分の歯が 10 本以下でもリスクを抱える割合が比較的高いことが見受けられ、歯の健康が心身の健康や介護予防に関連していることがうかがえます。

リスク者割合の比較（歯の状況別）

			回答者 実数	総合事業	運動機能 低下	転倒 リスク	閉じこも り傾向	低栄養の 傾向	口腔機能 低下
かみ合わせ	良い		934 人	23.0% (215 人)	12.8% (120 人)	23.9% (223 人)	18.2% (170 人)	0.7% (7 人)	15.7% (147 人)
	悪い		313 人	48.9% (153 人)	30.4% (95 人)	41.9% (131 人)	23.3% (73 人)	1.3% (4 人)	44.1% (138 人)
入れ歯の 状況	自分の歯は 20 本以上	入れ歯を 利用	125 人	17.6% (22 人)	4.8% (6 人)	21.6% (27 人)	12.8% (16 人)	0.0% (0 人)	16.0% (20 人)
		入れ歯の 利用なし	346 人	17.3% (60 人)	9.5% (33 人)	19.7% (68 人)	13.3% (46 人)	1.2% (4 人)	10.7% (37 人)
	自分の歯は 10～19 本	入れ歯を 利用	207 人	36.7% (76 人)	15.0% (31 人)	27.5% (57 人)	17.4% (36 人)	0.0% (0 人)	30.4% (63 人)
		入れ歯の 利用なし	150 人	22.7% (34 人)	11.3% (17 人)	27.3% (41 人)	17.3% (26 人)	0.0% (0 人)	16.7% (25 人)
	自分の歯は 10 本未満	入れ歯を 利用	333 人	40.2% (134 人)	27.6% (92 人)	37.2% (124 人)	24.0% (80 人)	1.5% (5 人)	31.2% (104 人)
		入れ歯の 利用なし	72 人	47.2% (34 人)	40.3% (29 人)	41.7% (30 人)	31.9% (23 人)	1.4% (1 人)	36.1% (26 人)

			回答者 実数	うつ傾向	認知機能 低下	I A D L の低下	知的能動 性の低下	社会的役 割の低下
かみ合わせ	良い		934 人	31.2% (291 人)	36.8% (344 人)	10.0% (93 人)	31.5% (295 人)	44.6% (416 人)
	悪い		313 人	46.3% (145 人)	53.7% (168 人)	19.8% (62 人)	50.8% (159 人)	58.4% (183 人)
入れ歯の 状況	自分の歯は 20 本以上	入れ歯を 利用	125 人	33.6% (42 人)	45.6% (57 人)	4.0% (5 人)	23.2% (29 人)	37.6% (47 人)
		入れ歯の 利用なし	346 人	31.2% (108 人)	35.0% (121 人)	7.0% (24 人)	30.0% (104 人)	44.5% (154 人)
	自分の歯は 10～19 本	入れ歯を 利用	207 人	30.4% (63 人)	43.5% (90 人)	11.1% (23 人)	34.3% (71 人)	44.9% (93 人)
		入れ歯の 利用なし	150 人	28.7% (43 人)	40.7% (61 人)	11.3% (17 人)	38.7% (58 人)	55.3% (83 人)
	自分の歯は 10 本未満	入れ歯を 利用	333 人	40.2% (134 人)	41.4% (138 人)	17.7% (59 人)	42.9% (143 人)	50.1% (167 人)
		入れ歯の 利用なし	72 人	45.8% (33 人)	56.9% (41 人)	25.0% (18 人)	55.6% (40 人)	63.8% (46 人)

(4) 社会参加別の比較

リスク者割合を社会参加別で見ると、「ボランティアのグループ」に参加している人では、ほかの社会参加活動よりも多くの身体機能リスクで、リスクの割合が最も低くなっています。地域活動やボランティアが、介護予防に関連性があることが見受けられます。

また、「老人クラブ」では、「うつ予防」、「認知機能低下」で、ほかの社会参加活動よりリスクの割合が低くなっています。

リスク者割合の比較（社会参加別）

	回答者実数	総合事業	運動機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養の傾向	口腔機能低下
ボランティアのグループ	185 人	18.9% (35 人)	6.5% (12 人)	22.7% (42 人)	3.2% (6 人)	0.0% (0 人)	17.3% (32 人)
スポーツ関係のグループやクラブ	259 人	19.3% (50 人)	6.9% (18 人)	26.3% (68 人)	4.6% (12 人)	0.0% (0 人)	15.1% (39 人)
趣味関係のグループ	318 人	22.3% (71 人)	8.8% (28 人)	23.6% (75 人)	7.2% (23 人)	0.3% (1 人)	17.6% (56 人)
学習・教養サークル	101 人	22.8% (23 人)	10.9% (11 人)	29.7% (30 人)	4.0% (4 人)	0.0% (0 人)	16.8% (17 人)
介護予防のための通いの場	113 人	33.6% (38 人)	24.8% (28 人)	23.0% (26 人)	15.9% (18 人)	0.9% (1 人)	19.5% (22 人)
老人クラブ	135 人	26.7% (36 人)	14.8% (20 人)	31.1% (42 人)	11.9% (16 人)	0.7% (1 人)	19.3% (26 人)
町内会・自治会	237 人	22.8% (54 人)	10.1% (24 人)	25.7% (61 人)	8.4% (20 人)	0.4% (1 人)	16.9% (40 人)
収入のある仕事	392 人	23.2% (91 人)	9.4% (37 人)	25.0% (98 人)	9.7% (38 人)	0.0% (0 人)	16.6% (65 人)

	回答者実数	うつ傾向	認知機能低下	I A D L の低下	知的能動性の低下	社会的役割の低下
ボランティアのグループ	185 人	27.0% (50 人)	34.1% (63 人)	4.3% (8 人)	20.0% (37 人)	18.4% (34 人)
スポーツ関係のグループやクラブ	259 人	25.1% (65 人)	38.6% (100 人)	5.0% (13 人)	20.8% (54 人)	28.6% (74 人)
趣味関係のグループ	318 人	26.7% (85 人)	34.6% (110 人)	5.6% (18 人)	25.5% (81 人)	34.6% (110 人)
学習・教養サークル	101 人	29.7% (30 人)	42.6% (43 人)	5.0% (5 人)	16.8% (17 人)	25.8% (26 人)
介護予防のための通いの場	113 人	27.4% (31 人)	45.1% (51 人)	9.8% (11 人)	29.2% (33 人)	34.5% (39 人)
老人クラブ	135 人	24.4% (33 人)	31.1% (42 人)	5.2% (7 人)	27.4% (37 人)	23.7% (32 人)
町内会・自治会	237 人	24.9% (59 人)	36.3% (86 人)	7.6% (18 人)	29.1% (69 人)	27.9% (66 人)
収入のある仕事	392 人	29.6% (116 人)	36.7% (144 人)	4.9% (19 人)	28.3% (111 人)	38.5% (151 人)

(5) 主観的幸福度別の比較

リスク者割合を幸福度別で見ると、「0点(幸福ではない)」では、ほぼ全ての項目でリスク者割合が高くなっています。「うつ傾向」、「社会的役割の低下」、「知的能動性の低下」などは、7割を超えています。

また、「0点(幸福ではない)」のリスク者割合は、「10点(とても幸せ)」と比較すると「うつ傾向」では78.5ポイントの上昇、「社会的役割の低下」、「知的能動性の低下」では43ポイントの上昇となっています。

リスク者割合の比較（幸福度別）

	回答者実数	総合事業	運動機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養の傾向	口腔機能低下
0点 (幸福ではない)	16人	50.0% (8人)	43.8% (7人)	56.3% (9人)	31.3% (5人)	6.3% (1人)	43.8% (7人)
1点～3点 (やや幸福ではない)	58人	46.6% (27人)	36.2% (21人)	50.0% (29人)	39.7% (23人)	3.4% (2人)	51.7% (30人)
4点～6点 (普通)	300人	41.0% (123人)	24.3% (73人)	34.3% (103人)	26.3% (79人)	1.0% (3人)	32.0% (96人)
7点～9点 (やや幸せ)	545人	25.7% (140人)	12.3% (67人)	26.6% (145人)	15.8% (86人)	0.4% (2人)	18.5% (101人)
10点 (とても幸せ)	320人	21.6% (69人)	13.4% (43人)	18.8% (60人)	14.4% (46人)	0.3% (1人)	15.9% (51人)

	回答者実数	うつ傾向	認知機能低下	IADLの低下	知的能動性の低下	社会的役割の低下
0点 (幸福ではない)	16人	93.8% (15人)	56.3% (9人)	37.6% (6人)	75.0% (12人)	81.3% (13人)
1点～3点 (やや幸福ではない)	58人	84.5% (49人)	58.6% (34人)	24.2% (14人)	60.4% (35人)	74.1% (43人)
4点～6点 (普通)	300人	56.0% (168人)	49.3% (148人)	19.0% (57人)	45.0% (135人)	65.7% (197人)
7点～9点 (やや幸せ)	545人	26.6% (145人)	40.0% (218人)	8.6% (47人)	30.3% (165人)	39.1% (213人)
10点 (とても幸せ)	320人	15.3% (49人)	31.3% (100人)	8.5% (27人)	31.9% (102人)	38.1% (122人)

(6) 主観的健康観別の比較

リスク者割合を主観的健康観別で見ると、健康ではない（「よくない」、「あまりよくない」）は、全項目でリスク者割合が最も高くなっています。特に、「よくない」においてはほぼすべての項目で高く、「社会的役割の低下」、「うつ傾向」、「運動機能低下」が約8割、「総合事業（の対象者）」は7割に及んでいます。

リスク者割合の比較（主観的健康観）

	回答者実数	総合事業	運動機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養の傾向	口腔機能低下
とてもよい	161 人	13.0% (21 人)	3.1% (5 人)	9.9% (16 人)	10.6% (17 人)	1.2% (2 人)	11.2% (18 人)
まあよい	837 人	23.3% (195 人)	10.3% (86 人)	24.7% (207 人)	16.4% (137 人)	0.0% (0 人)	17.6% (147 人)
あまりよくない	241 人	57.3% (138 人)	41.9% (101 人)	46.5% (112 人)	32.4% (78 人)	3.3% (8 人)	45.2% (109 人)
よくない	39 人	71.8% (28 人)	79.5% (31 人)	53.8% (21 人)	46.2% (18 人)	2.6% (1 人)	61.5% (24 人)

	回答者実数	うつ傾向	認知機能低下	I A D L の低下	知的能動性の低下	社会的役割の低下
とてもよい	161 人	17.4% (28 人)	21.1% (34 人)	6.8% (11 人)	24.8% (40 人)	33.5% (54 人)
まあよい	837 人	28.1% (235 人)	39.7% (332 人)	8.6% (72 人)	33.0% (276 人)	45.1% (378 人)
あまりよくない	241 人	60.6% (146 人)	58.5% (141 人)	25.3% (61 人)	54.4% (131 人)	62.3% (150 人)
よくない	39 人	79.5% (31 人)	59.0% (23 人)	43.6% (17 人)	53.9% (21 人)	79.5% (31 人)

(7) 生きがいの有無別の比較

リスク者割合を生きがいの有無別で見ると、「生きがいがない（思いつかない）」は、全項目でリスク者割合が高くなっています。特に、「社会的役割の低下」が7割、「知的能動性の低下」は5割半ば、「認知機能低下」は5割に及んでいます。

リスク者割合の比較（生きがいの有無別）

	回答者実数	総合事業	運動機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養の傾向	口腔機能低下
生きがいあり	821 人	26.6% (218 人)	14.3% (117 人)	25.6% (210 人)	13.9% (114 人)	0.6% (5 人)	19.7% (162 人)
思いつかない	382 人	38.7% (148 人)	25.4% (97 人)	34.0% (130 人)	31.2% (119 人)	0.8% (3 人)	31.7% (121 人)

	回答者実数	うつ傾向	認知機能低下	I A D L の低下	知的能動性の低下	社会的役割の低下
生きがいあり	821 人	28.1% (231 人)	36.8% (302 人)	8.2% (67 人)	28.8% (236 人)	39.1% (321 人)
思いつかない	382 人	49.7% (190 人)	52.9% (202 人)	23.3% (89 人)	54.4% (208 人)	70.9% (271 人)

(8) 孤独感の有無別の比較

リスク者割合を孤独感の有無別で見ると、ほとんどの項目について、孤独を「よく感じる」人でリスク者割合が非常に高くなっています。特に「うつ傾向」や「社会的役割の低下」で割合が高いです。

リスク者割合の比較（孤独感の有無別）

	回答者実数	総合事業	運動機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養の傾向	口腔機能低下
よく感じる	70 人	47.1% (33 人)	35.7% (25 人)	38.6% (27 人)	32.9% (23 人)	1.4% (1 人)	42.9% (30 人)
ときどき感じる	312 人	40.4% (126 人)	21.5% (67 人)	40.1% (125 人)	27.9% (87 人)	1.6% (5 人)	37.5% (117 人)
あまり感じない	512 人	27.9% (143 人)	16.2% (83 人)	25.4% (130 人)	16.4% (84 人)	0.4% (2 人)	18.6% (95 人)
ほとんど感じない	375 人	20.8% (78 人)	11.5% (43 人)	19.5% (73 人)	14.1% (53 人)	0.5% (2 人)	13.6% (51 人)

	回答者実数	うつ傾向	認知機能低下	I A D L の低下	知的能動性の低下	社会的役割の低下
よく感じる	70 人	87.1% (61 人)	68.6% (48 人)	27.1% (19 人)	52.9% (37 人)	81.4% (57 人)
ときどき感じる	312 人	68.6% (214 人)	51.3% (160 人)	16.1% (50 人)	42.3% (132 人)	55.7% (174 人)
あまり感じない	512 人	23.4% (120 人)	37.3% (191 人)	11.3% (58 人)	35.0% (179 人)	44.0% (225 人)
ほとんど感じない	375 人	13.1% (49 人)	32.3% (121 人)	9.4% (35 人)	31.7% (119 人)	41.6% (156 人)

(9) 孤食の状況別の比較

リスク者割合を孤食の状況別で見ると、転倒リスク、低栄養の傾向を除く項目について、どれかと食事をともにする機会が「ほとんどない」と回答した人でリスク者割合が高くなっています。特に「知的能動性の低下」、「口腔機能低下」は「年に何度かある」よりも15ポイント以上高いです。

リスク者割合の比較（孤食の状況別）

	回答者実数	総合事業	運動機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養の傾向	口腔機能低下
毎日ある	565 人	28.3% (160 人)	15.6% (88 人)	27.3% (154 人)	15.9% (90 人)	1.2% (7 人)	20.7% (117 人)
週に何度かある	137 人	24.1% (33 人)	15.3% (21 人)	22.6% (31 人)	11.7% (16 人)	0.7% (1 人)	20.4% (28 人)
月に何度かある	252 人	28.2% (71 人)	13.5% (34 人)	24.6% (62 人)	16.3% (41 人)	0.0% (0 人)	23.0% (58 人)
年に何度かある	140 人	30.7% (43 人)	18.6% (26 人)	35.7% (50 人)	23.6% (33 人)	0.7% (1 人)	20.7% (29 人)
ほとんどない	182 人	41.8% (76 人)	28.6% (52 人)	34.1% (62 人)	37.9% (69 人)	1.1% (2 人)	36.3% (66 人)

	回答者実数	うつ傾向	認知機能低下	I A D L の低下	知的能動性の低下	社会的役割の低下
毎日ある	565 人	28.8% (163 人)	41.2% (233 人)	13.6% (77 人)	33.4% (189 人)	44.6% (252 人)
週に何度かある	137 人	36.5% (50 人)	35.0% (48 人)	9.5% (13 人)	29.9% (41 人)	33.6% (46 人)
月に何度かある	252 人	31.0% (78 人)	42.5% (107 人)	8.3% (21 人)	34.1% (86 人)	42.5% (107 人)
年に何度かある	140 人	40.7% (57 人)	42.1% (59 人)	9.3% (13 人)	37.2% (52 人)	57.1% (80 人)
ほとんどない	182 人	51.6% (94 人)	44.0% (80 人)	21.4% (39 人)	54.4% (99 人)	68.1% (124 人)

(10) BMI 別の比較

リスク者割合をBMI別で見ると、「低体重(やせ型)」は、ほぼすべての項目でリスク者割合が最も高くなっています。特に、「社会的役割の低下」は6割、「総合事業(の対象者)」が5割と高いです。

リスク者割合の比較 (BMI 別)

	回答者実数	総合事業	運動機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養の傾向	口腔機能低下
低体重(やせ型)	45 人	51.1% (23 人)	28.9% (13 人)	37.8% (17 人)	35.6% (16 人)	24.4% (11 人)	33.3% (15 人)
普通体重	690 人	28.0% (193 人)	13.2% (91 人)	26.4% (182 人)	19.1% (132 人)	0.0% (0 人)	22.2% (153 人)
肥満	490 人	31.0% (152 人)	20.2% (99 人)	28.6% (140 人)	16.9% (83 人)	0.0% (0 人)	22.2% (109 人)

	回答者実数	うつ傾向	認知機能低下	IADLの低下	知的能動性の低下	社会的役割の低下
低体重(やせ型)	45 人	40.0% (18 人)	37.8% (17 人)	20.0% (9 人)	44.4% (20 人)	62.2% (28 人)
普通体重	690 人	33.8% (233 人)	41.9% (289 人)	10.9% (75 人)	34.6% (239 人)	46.0% (317 人)
肥満	490 人	33.9% (166 人)	40.4% (198 人)	12.4% (61 人)	35.7% (175 人)	48.5% (238 人)

(11) 喫煙の有無別の比較

リスク者割合を喫煙の有無別で見ると、喫煙者(「ほぼ毎日吸っている」、「時々吸っている」)は、8項目でリスク者割合が最も高くなっています。

リスク者割合の比較 (喫煙の有無別)

	回答者実数	総合事業	運動機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養の傾向	口腔機能低下
ほぼ毎日吸っている	99 人	29.3% (29 人)	15.2% (15 人)	27.3% (27 人)	22.2% (22 人)	0.0% (0 人)	23.2% (23 人)
時々吸っている	12 人	25.0% (3 人)	33.3% (4 人)	41.7% (5 人)	16.7% (2 人)	8.3% (1 人)	25.0% (3 人)
吸っていたがやめた	274 人	30.3% (83 人)	17.2% (47 人)	28.8% (79 人)	16.8% (46 人)	0.4% (1 人)	24.1% (66 人)
もともと吸っていない	899 人	29.5% (265 人)	17.4% (156 人)	27.7% (249 人)	20.2% (182 人)	0.9% (8 人)	22.7% (204 人)

	回答者実数	うつ傾向	認知機能低下	IADLの低下	知的能動性の低下	社会的役割の低下
ほぼ毎日吸っている	99 人	44.4% (44 人)	37.4% (37 人)	12.2% (12 人)	48.5% (48 人)	58.6% (58 人)
時々吸っている	12 人	58.3% (7 人)	33.3% (4 人)	8.3% (1 人)	16.6% (2 人)	41.7% (5 人)
吸っていたがやめた	274 人	38.0% (104 人)	45.6% (125 人)	16.1% (44 人)	36.2% (99 人)	53.6% (147 人)
もともと吸っていない	899 人	32.5% (292 人)	40.4% (363 人)	11.9% (107 人)	35.9% (322 人)	45.2% (406 人)

(12) 飲酒の有無別の比較

リスク者割合を飲酒状況別で見ると、「転倒リスク」と「認知機能低下」以外の項目で飲酒者（「ほぼ毎日飲む」、「時々飲む」）よりも、飲酒をしない人の方がリスク者割合が高くなっています。

リスク者割合の比較（飲酒の有無別）

	回答者実数	総合事業	運動機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養の傾向	口腔機能低下
ほぼ毎日飲む	216 人	25.9% (56 人)	12.5% (27 人)	32.4% (70 人)	15.7% (34 人)	0.5% (1 人)	21.3% (46 人)
時々飲む	265 人	24.9% (66 人)	13.2% (35 人)	23.0% (61 人)	14.7% (39 人)	0.0% (0 人)	18.1% (48 人)
ほとんど飲まない	306 人	30.7% (94 人)	20.6% (63 人)	31.0% (95 人)	20.6% (63 人)	0.7% (2 人)	27.1% (83 人)
もともと飲まない	495 人	33.1% (164 人)	19.8% (98 人)	26.9% (133 人)	24.0% (119 人)	1.4% (7 人)	23.8% (118 人)

	回答者実数	うつ傾向	認知機能低下	I A D L の低下	知的能動性の低下	社会的役割の低下
ほぼ毎日飲む	216 人	37.0% (80 人)	44.9% (97 人)	11.1% (24 人)	38.4% (83 人)	48.6% (105 人)
時々飲む	265 人	29.1% (77 人)	37.0% (98 人)	12.4% (33 人)	29.9% (79 人)	45.3% (120 人)
ほとんど飲まない	306 人	42.8% (131 人)	41.2% (126 人)	15.0% (46 人)	37.3% (114 人)	51.9% (159 人)
もともと飲まない	495 人	31.5% (156 人)	41.6% (206 人)	12.3% (61 人)	38.9% (193 人)	46.5% (230 人)

(13) 暮らしの状況（経済的）別の比較

リスク者割合を暮らしの状況（経済的）別で見ると、「大変苦しい」や「やや苦しい」という回答では、ほぼ全ての項目でリスク者割合が最も高くなっています。特に、「知的能動性の低下」、「総合事業（の対象者）」などで、経済的に普通やゆとりがあるという回答との差が大きくなっています。

リスク者割合の比較（暮らしの状況別）

	回答者実数	総合事業	運動機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養の傾向	口腔機能低下
大変苦しい	97 人	45.4% (44 人)	39.2% (38 人)	41.2% (40 人)	29.9% (29 人)	3.1% (3 人)	35.1% (34 人)
やや苦しい	318 人	42.1% (134 人)	24.5% (78 人)	37.1% (118 人)	24.2% (77 人)	0.9% (3 人)	36.2% (115 人)
ふつう	774 人	24.4% (189 人)	13.0% (101 人)	23.6% (183 人)	18.1% (140 人)	0.5% (4 人)	17.7% (137 人)
ややゆとりがある	71 人	16.9% (12 人)	7.0% (5 人)	18.3% (13 人)	8.5% (6 人)	1.4% (1 人)	11.3% (8 人)
大変ゆとりがある	15 人	33.3% (5 人)	6.7% (1 人)	6.7% (1 人)	13.3% (2 人)	0.0% (0 人)	26.7% (4 人)

	回答者実数	うつ傾向	認知機能低下	I A D L の低下	知的能動性の低下	社会的役割の低下
大変苦しい	97 人	54.6% (53 人)	45.4% (44 人)	19.5% (19 人)	50.5% (49 人)	59.8% (58 人)
やや苦しい	318 人	45.6% (145 人)	47.8% (152 人)	15.4% (49 人)	44.7% (142 人)	56.9% (181 人)
ふつう	774 人	27.9% (216 人)	37.6% (291 人)	11.0% (85 人)	34.0% (263 人)	43.4% (336 人)
ややゆとりがある	71 人	32.4% (23 人)	46.5% (33 人)	14.0% (10 人)	19.8% (14 人)	42.3% (30 人)
大変ゆとりがある	15 人	13.3% (2 人)	26.7% (4 人)	6.7% (1 人)	13.3% (2 人)	33.3% (5 人)

Ⅲ. 調査票

第9期

宮古島市 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票

ごあいさつ

皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃から宮古島市の介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

宮古島市では、令和5年度中に「第9期宮古島市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定いたします。来年度の計画策定に先立ち、高齢者の皆様の健康増進等に係る地域課題を把握し、介護予防施策の立案等に活用するために、アンケート調査を実施することといたしました。この調査は、市内に住む65歳以上の方（要介護1～5の方は除く。）から無作為に抽出した約3,000人を対象に行うものです。

調査結果は、来年度の計画策定及び介護保険事業の推進に役立てると同時に、地域包括支援センターの活動や市政等に広く活用させていただきます。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

なお、回答の内容は、宮古島市個人情報保護条例を遵守し、適正に取り扱います。

宮古島市長

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 回答の目安時間は約20分です。
- 調査票記入後は、同封の返信用封筒に入れて、

1月13日(金)までにポストに投函してください。

記入日	令和 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄 _____）	
3. その他	

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、市内にお住まいの高齢者の状況などを把握し、介護予防の取り組みなどを検討するために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、本市の介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また、ご回答いただいた情報については、本市で適切に管理いたします。
- ただし、本調査で得られた情報は、厚生労働省に登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

<調査実施者>

宮古島市 高齢者支援課 介護給付係
電話 0980-73-1964

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者が65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者が64歳以下) | 4. 配偶者以外と2人暮らし |
| 5. 3人以上の同居世帯 | 6. その他 () |

【(1)において「4. 配偶者以外と2人暮らし」「5. 3人以上の同居世帯」「6. その他」と回答した方のみ】

① 同居されている方はどなたですか

- | | | | |
|-------------|---------|------------|----------|
| 1. 配偶者(夫、妻) | 2. 息子 | 3. 娘 | 4. 子の配偶者 |
| 5. 孫 | 6. 兄弟姉妹 | 7. その他 () | |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(いくつでも)

- | | | |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 2. 心臓病 | 3. がん(悪性新生物) |
| 4. 呼吸器の病気(肺炎・肺炎等) | 5. 関節の病気(リウマチ等) | |
| 6. 認知症(アルツハイマー病等) | 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病 |
| 9. 腎疾患(透析) | 10. 視覚・聴覚障害 | 11. 骨折・転倒 |
| 12. 脊椎損傷 | 13. 高齢による衰弱 | |
| 14. その他 () | 15. 不明 | |

【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

② 主にどなたの介護、介助を受けていますか(いくつでも)

- | | | |
|----------------|------------|----------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者(嫁、むこ) | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他 () | |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

- | | |
|--|--|
| 1. 持家（一戸建て） | 2. 持家（集合住宅） |
| 3. <small>こうえいちんたいじゅうたく</small> 公営賃貸住宅（県営、市営、官舎等） | 4. <small>みんかんちんたいじゅうたく</small> 民間賃貸住宅（一戸建て） |
| 5. <small>みんかんちんたいじゅうたく</small> 民間賃貸住宅（集合住宅、アパート等） | 6. 借間 |
| 7. その他 | |

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 15分位続けて歩いていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

(5) 転倒に対する不安は大きいですか

- | | |
|-------------|------------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である |
| 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |

（６）週に１回以上は外出していますか

1. ほとんど外出しない 2. 週１回 3. 週２～４回 4. 週５回以上

（７）昨年と比べて外出の回数が減っていますか

1. とても減っている 2. 減っている
3. あまり減っていない 4. 減っていない

（８）外出を控えていますか

1. はい 2. いいえ

【（８）で「１. はい」（外出を控えている）の方のみ】

① 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

1. 病気 2. 障害（しょうがい脳卒中のうそっちゅうの後遺症こういしょうなど）
3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配（失禁など）
5. 耳の障害（聞こえの問題など） 6. 目の障害
7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない 10. その他（ ）

（９）外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク
4. 自動車（自分で運転） 5. 自動車（人に乗せてもらう） 6. 路線バス
7. 病院や施設のバス 8. 車いす 9. 電動車いす（カート）
10. 歩行器・シルバーカー 11. タクシー
12. その他（ ）

問3 食べることについて

(1) 身長・体重

身長

cm

体重

kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

1. はい

2. いいえ

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

1. はい

2. いいえ

(4) 口の^{かわ}渴きが気になりますか

1. はい

2. いいえ

(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか

1. はい

2. いいえ

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし

3. 自分の歯は 10～19 本、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は 10～19 本、入れ歯の利用なし

5. 自分の歯は 10 本未満、かつ入れ歯を利用 6. 自分の歯は 10 本未満、入れ歯の利用なし

① 噛み合わせは良いですか

1. はい

2. いいえ

【(6)で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は 10～19 本、かつ入れ歯を利用」「5. 自分の歯は 10 本未満、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

② 毎日入れ歯の手入れをしていますか

1. はい

2. いいえ

(7) 現在、歯科医院を受診していますか

1. はい 2. いいえ

【(7)で「2. いいえ」の方のみ】

① 歯科医院を受診していない理由はなんですか（いくつでも）

1. 忙しいから 2. 行く必要がないから
3. 移動手段がないから 4. 近くに歯科医院がないから
5. 病気や怪我、障がい等があるから 6. お金がかかるから
7. 歯科医院が苦手だから 8. 行くのが面倒だから
9. その他（ ）

(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

1. はい 2. いいえ

(9) どなたかと食事をとにもする機会がありますか

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか

1. はい 2. いいえ

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

1. はい 2. いいえ

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

1. はい 2. いいえ

(4) 物をしまった場所がわからなくなることがありますか		
1. はい	2. いいえ	
(5) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(6) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
【(6)で「2. できるけどしていない」「3. できない」の方のみ】		
① 買い物しない、できない理由はなんですか(いくつでも)		
1. 近くに店がない	2. 交通手段がない	
3. 家族等が買っている	4. 外出したくない	
5. 身体的にできない(歩けない、息切れ等)		6. 経済的理由
7. 宅配を利用している	8. その他 ()	
(7) 自分で食事の用意をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(8) 自分で請求書せいきゅうしょの支払いをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(9) 自分で預貯金よちよきんの出し入れをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(10) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか		
1. はい	2. いいえ	
(11) 新聞を読んでいますか		
1. はい	2. いいえ	

(12) 本や雑誌 ざっし を読んでいますか	
1. はい	2. いいえ
(13) 健康についての記事や番組に関心がありますか	
1. はい	2. いいえ
(14) 友人の家を訪ねていますか	
1. はい	2. いいえ
(15) 家族や友人の相談にのっていますか	
1. はい	2. いいえ
(16) 病人を見舞うことができますか	
1. はい	2. いいえ
(17) 若い人に自分から話しかけることがありますか	
1. はい	2. いいえ
(18) 趣味 しゅみ はありますか	
1. 趣味 しゅみ あり	→ ()
2. 思いつかない	
(19) 生きがい いきがい はありますか	
1. 生きがい いきがい あり	→ ()
2. 思いつかない	

問6

たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

- | | | |
|-------------------------------------|---------------------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・ <small>しんせき</small> 親戚・親・孫 | 5. <small>きんりん</small> 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他() 8. そのような人はいない | | |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

- | | | |
|-------------------------------------|---------------------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・ <small>しんせき</small> 親戚・親・孫 | 5. <small>きんりん</small> 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他() 8. そのような人はいない | | |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)

- | | | |
|-------------------------------------|---------------------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・ <small>しんせき</small> 親戚・親・孫 | 5. <small>きんりん</small> 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他() 8. そのような人はいない | | |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(いくつでも)

- | | | |
|-------------------------------------|---------------------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・ <small>しんせき</small> 親戚・親・孫 | 5. <small>きんりん</small> 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他() 8. そのような人はいない | | |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(いくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 地域包括支援センター・役所・役場 | 6. その他 |
| 7. そのような人はいない | |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

**(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか
同じ人には何度会っても1人と数えることとします**

- | | | |
|-------------|----------|---------|
| 1. 0人 (いない) | 2. 1～2人 | 3. 3～5人 |
| 4. 6～9人 | 5. 10人以上 | |

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ |
| 3. 学生時代の友人 | 4. 仕事での同僚・元同僚 |
| 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他 () | 8. いない |

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

**(2) あなたは、現在どの程度幸せですか
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)**

とても 不幸												とても 幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点		

(3) 日頃外出したり、誰かが訪ねてくるなど、人とふれあう機会がありますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) 【(3)で「1. はい」の方のみ】人とふれあう機会はどれくらいありますか

- | | | | |
|-------|-------------|-----------|-----------|
| 1. 毎日 | 2. 週2～3回くらい | 3. 週1回くらい | 4. 月1回くらい |
|-------|-------------|-----------|-----------|

(5) 日常生活をしていて、^{こどくかん}孤独感がありますか

1. よく感じる 2. ときどき感じる 3. あまり感じない 4. ほとんど感じない

(6) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

1. はい 2. いいえ

(7) この1か月間、どうしても物事に対して興味^{きょうみ}がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

1. はい 2. いいえ

(8) お酒は飲みますか

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない

(9) タバコは吸っていますか

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない

(10) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

1. ない
2. 高血圧
3. 脳卒中（のうそっちゅう 脳出血・のうしゅつけつ 脳梗塞等）
4. 心臓病
5. 糖尿病（とうりょうびょう）
6. 高脂血症（こうしけっしょう 脂質異常ししつじょう）
7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気（じんぞう 腎臓・ぜんりつせん 前立腺）
10. 筋骨格の病気（きんこつかく 骨粗しょう症、こつそ 関節症等しょう）
11. 外傷（がいしょう 転倒・てんとう 骨折等こっせつ）
12. がん（悪性新生物）
13. 血液・免疫の病気（めんえき 免疫）
14. うつ病
15. 認知症（にんちしょう アルツハイマー病等）
16. パーキンソン病
17. 目の病気
18. 耳の病気
19. その他（ ）

(11) 現在、病院を受診していますか

1. はい

2. いいえ

【(11)で「2. いいえ」の方のみ】

① 病院を受診していない理由はなんですか（いくつでも）

1. 忙しいから

2. 行く必要がないから

3. 移動手段がないから

4. 近くに病院がないから

5. 病気や怪我、障がい等があるから

6. お金がかかるから

7. 病院が苦手だから

8. 行くのが面倒だから

9. その他（

）

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

1. はい

2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

1. はい

2. いいえ

問9 その他

(1) 生活の中で支援を望むことはありますか(いくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 話し相手 | 2. ときどき声をかけてほしい |
| 3. 買い物の支援(買ってきてほしい) | 4. 調理の支援 |
| 5. 配食サービス(食事の提供) | 6. みんなで食事をする機会(会食など) |
| 7. 移動の支援(送迎など) | 8. 簡単な生活支援(ゴミ出し、掃除など) |
| 9. 庭の手入れ、片付け(台風前後など) | 10. 緊急時の通報システム |
| 11. 金銭管理の支援(成年後見制度など) | 12. その他 () |

(2) 5年後、10年後、あなたがお住まいの地域で継続して生活し続ける中で不安に感じることはありますか。(いくつでも)

- | | | |
|------------------------------------|-------------------|--------------------|
| 1. 健康 | 2. 経済状況 | 3. 日常の買い物(食材・日用品等) |
| 4. 日常的家事(掃除・洗濯・食事・調理・ゴミ出し・布団干し等) | | |
| 5. 非日常的家事(大掃除・日用品以外の買い物・金銭や貴重品の管理) | | |
| 6. 移動手段 | 7. 緊急時に頼る人が近くにいない | |
| 8. 話し相手がいない | 9. 生きがいがいい | |
| 10. その他 () | 11. 特にない | |

(3) 介護保険におけるデイサービス以外に、お住まいの地域で気軽に立ち寄り交流ができる寄り合い場や広場(サロン)があったら、利用したいと思いますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

【(問9の(3))で「2. いいえ」の方のみ】

(4) 利用したいと思わない理由は、次のどれですか。(いくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 体調が悪い(病気・足腰等の痛み等) | 2. 障がいがあるため(耳・目・後遺症等) |
| 3. トイレが心配(失禁など) | 4. 経済的に参加できない |
| 5. 交通手段がない | 6. 知り合いがいない |
| 7. 一緒に行く人がいない | 8. 忙しい |
| 9. その他 () | |

※地域包括支援センターとは、介護や認知症の相談、成年後見制度、虐待相談など、高齢者のための相談窓口です。

- (6) 現在あなたは介護予防に取り組んでいますか

- (7) 介護予防の上で重要と思われるものに○をつけてください(○は3つまで)

- (8) 健康づくりや介護予防のために支援してほしいことはなんですか（いくつでも）

- (9) 介護が必要になったときに、どのように暮らしたいですか

- 84

(10) どこで最期を迎えたいですか（あなたの考えに最も近いもの1つに○）

- | | |
|---------|---------------------|
| 1. 自宅 | 2. 介護施設（特別養護老人ホーム等） |
| 3. 病院 | 4. ケア付きの高齢者用住宅 |
| 5. その他（ | ） 6. 考えたことがない |

※上記の番号を選んだ理由をお聞かせください

[]

(11) 人生会議を知っていますか

※人生会議とは、人生の最終段階においてどんな治療やケアを受けたいかを家族や医師らと前もって話し合う取り組みです。

1. 内容を知っており、家族・医師等と話し合ったことがある
2. 内容は知っているが、家族・医師等と話し合ったことはない
3. 聞いたことはあるが詳しい内容は知らない
4. 知らない、聞いたこともない

(12) エンディングノートを知っていますか

※エンディングノートとは、人生の最期を迎える時に備えて、大切な家族に向けて自分の気持や想い、希望などを書き留めておくノートです。

1. 内容を知っており、エンディングノートを持っている
2. 内容は知っているが、エンディングノートを持っていない
3. 聞いたことはあるが詳しい内容は知らない
4. 知らない、聞いたこともない

(13) 携帯電話(折りたたみ式、スマートフォン、タブレット等)はお持ちですか

1. はい

2. いいえ

【(13)で「1. はい」の方のみ】

①どのようなアプリを使用していますか

1. LINE (ライン)

2. Twitter (ツイッター)

3. Instagram (インスタグラム)

4. face book (フェイスブック)

5. Eメール

6. You Tube (ユーチューブ)

7. その他 ()

【(13)で「2. いいえ」の方のみ】

②携帯電話をもっていない理由はなぜですか？

1. 興味がないから

2. 使ってみたいが使い方がわからない

3. 料金が安いから

4. 携帯電話（特にスマートフォン）で何
ができるかわからないから

5. その他 ()

(14) 新型コロナウイルス禍の前と現在で、ご自身(またはご家族)の日常生活に悪影響がありましたか

※①－⑧それぞれに回答してください

	深刻な悪影響があった	ある程度の悪影響があった	あまり悪影響はなかった	全く悪影響はなかった
① からだの健康（運動量、体力、物忘れ、持病）	1	2	3	4
② こころの健康（気力、生きがい、孤独感、幸福度）	1	2	3	4
③ 仕事・ ^{しゅみ} 趣味・生きがい活動の制限	1	2	3	4
④ 家族や親族とのつながり	1	2	3	4
⑤ 友人・知人とのつながり	1	2	3	4
⑥ 地域活動への参加	1	2	3	4
⑦ 外出（買い物、病院受診、相談など）の制限	1	2	3	4
⑧ 経済面（収入減）	1	2	3	4

■■■ 以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました ■■■